### く 資 料 目 次 >

#### 審査意見1(1)、(2)、2資料

(資料 13 東北農林専門職大学農業経営学科の養成する人材像、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーの対応関係)

#### 審査意見3(1)資料

(設置等の趣旨資料 24 別表 1~12 臨地実務実習実施計画書モデル例)

#### 審査意見11(2)、(3)資料

(シラバスモデル例)

(【資料6】近隣大学の農学系学部及び農林業系専門職大学の志願状況)

(【資料7】東北農林専門職大学(仮称)設置に関するアンケート調査(高校生)報告書 (令和5年3月))

#### 審査意見11(2)資料

(【資料9】高校卒業後の進学状況)

(【資料 10】大学(学部)への入学志願者及び入学者の状況)

(【資料 11】18歳人口の推移)

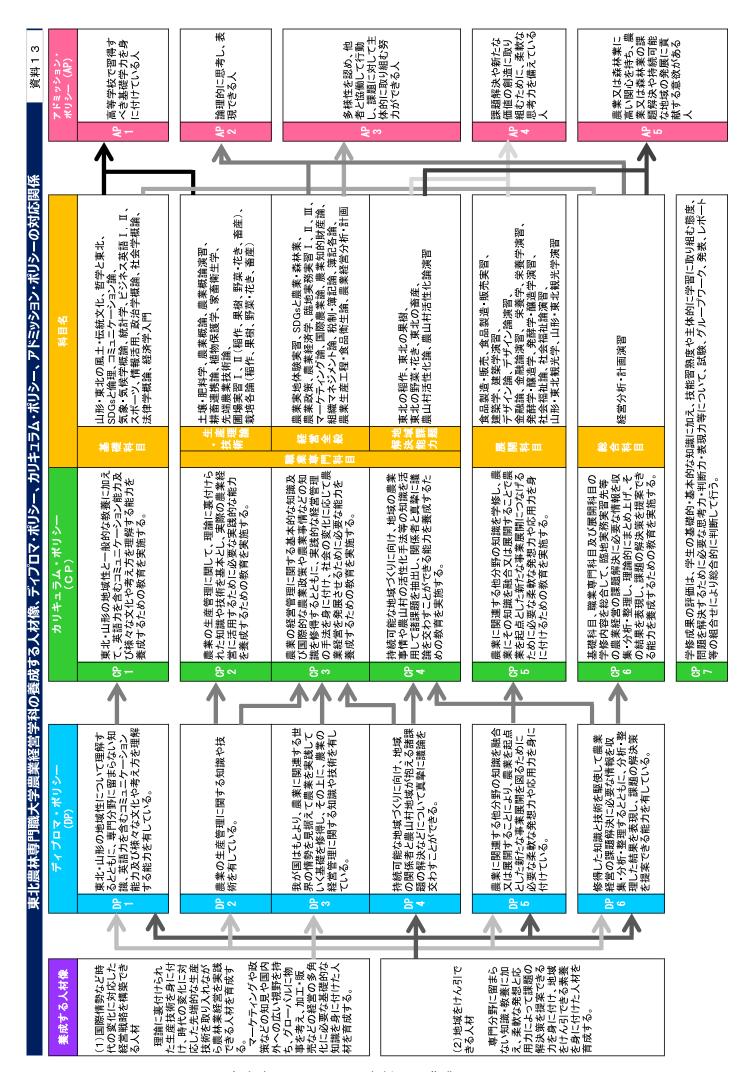
(【資料 13】山形県における大学進学の状況)

(【資料 14】東北地区の国公立大学の農学系学部の定員充足状況)

#### 審査意見11(3)資料

【資料 15】東北地区における農学系学部の設置状況

【資料 16】大卒者の産業別就職者数



# 農業経営学科モデル例①(稲作)

(様式第9号-1)

### 臨地実務実習実施計画書

(実習名:臨地実務実習 I)

実習先名		○○○農場	
実習指導者名		00 00	
学生氏名		専門 太郎	
	時期	実習期間	1日当たりの 実習時間
	4月期	4月21日(月)~4月25日(金)	8時間
実習	5月期	5月20日(火)~5月27日(火)	8時間
期間	6~7月期	7月9日(月)~7月11日(金)	8時間
	9月期	9月16日(火)~9月25日(木)	8時間
	10 月期	10月20日(月)~10月24日(金)	8時間
	11~12月期	12月1日(月)~12月3日(水)	8 時間

#### 【4月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
水稲	育苗用播種、乾田直播、堆肥施用、肥料	圃場
(生産管理)	散布	

#### 【5月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
水稲	田植え	圃場
(生産管理)		

#### 【6~7月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
水稲	圃場管理、畦畔草刈り	圃場
(生産管理)		
大豆	圃場管理(除草、中耕培土等)	圃場
(生産管理)		

### 【9月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
水稲	稲刈り、乾燥調製	圃場、作業場
(生産管理)		

### 【10月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
大豆	収穫	圃場、作業場
(生産管理)		

作物名	実習内容	主たる実習場所
大豆	選別、調整、出荷	作業場
(生産管理)		
水稲、大豆	農機具整備	作業場
(生産管理)		

# 農業経営学科モデル例①(稲作)

(様式第9号-1)

### 臨地実務実習実施計画書

(実習名:臨地実務実習Ⅱ)

	実習先名	○○○農場	
実習指導者名		00 00	
学生氏名		専門 太郎	
	時期	実習期間	1日当たりの 実習時間
	4月期	4月21日(火)~4月22日(水)	8時間
実習	5月期	5月19日(火)~5月21日(木)	8時間
期間	6~7月期	6月30日(火)~7月10日(金)	8 時間
	9月期	9月14日(月)~9月25日(金)	8時間
	10 月期	10月20日(火)~10月27日(火)	8時間
	11~12月期	12月1日 (火) ~12月2日 (水)	8 時間

#### 【4月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
水稲、大豆	作付計画作成、受注管理	事務所
(経営管理)		
水稲	育苗用播種、乾田直播、堆肥施用、肥料	圃場
(生産管理)	散布	

#### 【5月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
水稲、大豆	作業進捗管理、顧客管理	事務所等
(経営管理)		
水稲	水稲:田植え	圃場
(生産管理)		

作物名	実習内容	主たる実習場所
水稲、大豆	GAP 審査準備、対応	事務所、作業場
(経営管理)		
水稲、大豆	水稲:畦畔草刈り	圃場
(生産管理)	大豆:圃場管理(除草、中耕培土等)	

作物名	実習内容	主たる実習場所
水稲	刈取り計画作成、進捗管理	事務所
(経営管理)		
水稲	収穫、乾燥調製	圃場
(生産管理)		

### 【10月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
大豆	作業進捗管理 (刈取り計画作成)	事務所
(経営管理)		
大豆	収穫	圃場
(生産管理)		

作物名	実習内容	主たる実習場所
水稲、大豆	生産費計算、収支計算、決算資料作成	事務所等
(経営管理)		
水稲、大豆	農作業用機械メンテナンス等	作業場
(生産管理)		

# 農業経営学科モデル例①(稲作)

(様式第9号-1)

### 臨地実務実習実施計画書

(実習名:臨地実務実習Ⅲ)

卒業研究テーマ「水稲大規模経営体におけるスマート農機の導入効果と効率的な圃場管理 方法の提案」

VEX.			
	実習先名	○○○農場	
美	<b>ミ</b> 習指導者名	00 00	
	学生氏名	専門 太郎	
	時期	実習期間	1日当たりの 実習時間
	4月期	4月20日(火)~4月22日(木)	8時間
実習	5月期	5月24日(月)~5月28日(金)	8時間
期間	6~7月期	7月2日(金)~7月9日(金)	8 時間
	9月期	9月16日(木)~9月24日(金)	8 時間
	10 月期	10月25日(月)~10月29日(金)	8時間
	11~12月期	12月6日(月)~12月10日(金)	8時間

#### 【4月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
水稲、大豆	スマート農機利用計画作成	事務所
(経営総合)	圃場情報システム操作方法	
水稲、大豆	作付計画作成、受注管理	事務所
(経営管理)		
水稲	育苗用播種、乾田直播、堆肥施用、肥料	圃場
(生産管理)	散布	

#### 【5月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
水稲、大豆	作業時間等調査	圃場、事務所
(経営総合)		
水稲、大豆	栽培進捗管理、受注管理	事務所等
(経営管理)		
水稲	田植え	圃場
(生産管理)		

#### 【6~7月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
水稲、大豆	作業時間等調査、規模拡大シミュレーシ	圃場、事務所
(経営総合)	ョン	
水稲、大豆	GAP 審査準備、対応	事務所、作業場
(経営管理)		
水稲、大豆	水稲:畦畔草刈り	圃場
(生産管理)	大豆:圃場管理(除草、中耕培土等)	

### 【9月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
水稲、大豆	作業時間等調査、規模拡大シミュレーシ	圃場、事務所
(経営総合)	ョン	
水稲	刈取り計画作成、進捗管理	事務所
(経営管理)		
水稲	収穫、乾燥調製	圃場
(生産管理)		

### 【10月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
大豆	作業時間等調査	事務所
(経営総合)		
大豆	刈取り計画作成、進捗管理	事務所
(経営管理)		
大豆	収穫	圃場
(生産管理)		

作物名	実習内容	主たる実習場所
水稲、大豆	スマート農機導入効果試算(作業時間、	事務所
(経営総合)	生産費、収支)	
水稲、大豆	生産費計算、収支計算、決算資料作成	事務所等
(経営管理)		
水稲、大豆	農作業用機械メンテナンス等	作業場
(生産管理)		

# 農業経営学科モデル例②(果樹)

(様式第9号-1)

### 臨地実務実習実施計画書

(実習名:臨地実務実習 I)

	実習先名	000077-4	
美	医習指導者名	00 00	
	学生氏名	専門 太郎	
	時期	実習期間	1日当たりの 実習時間
	4月期	4月21日(月)~4月25日(金)	8時間
実習	5月期	5月19日(月)~5月20日(金)	8時間
期間	6~7月期	6月30日(月)~7月8日(火)	8時間
	9月期	9月16日(火)~9月25日(木)	8時間
	10 月期	10月20日(月)~10月27日(月)	8時間
	11~12月期	12月1日(月)~12月2日(火)	8 時間

#### 【4月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
オウトウ	雨よけハウス栽培:人工受粉、防霜	雨よけハウス、加温ハ
(生産管理)	加温ハウス栽培:着色管理	ウス

### 【5月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
オウトウ	雨よけハウス栽培:雨よけビニール被	雨よけハウス、加温ハ
(生産管理)	覆、摘果	ウス、作業場
	加温ハウス栽培:収穫	

作物名	実習内容	主たる実習場所
オウトウ	雨よけハウス栽培:収穫、選別、出荷	雨よけハウス、作業場
(生産管理)		

作物名	実習内容	主たる実習場所
ブドウ	収穫、出荷	圃場、作業場
(生産管理)		
モモ	収穫、出荷	圃場、作業場
(生産管理)		
リンゴ	着色管理	圃場
(生産管理)		
西洋ナシ	収穫 (早生品種)	圃場、作業場
(生産管理)		

# 【10月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
リンゴ	収穫、出荷	圃場、作業場
(生産管理)		
西洋ナシ	収穫 (ラ・フランス)、出荷	圃場、作業場
(生産管理)		

作物名	実習内容	主たる実習場所
リンゴ	出荷	作業場
(生産管理)		
西洋ナシ	出荷	作業場
(生産管理)		
全般	雪対策 (支柱設置等、大枝の剪定)	圃場
(生産管理)		

# 農業経営学科モデル例②(果樹)

(様式第9号-1)

### 臨地実務実習実施計画書

(実習名:臨地実務実習Ⅱ)

	実習先名	000077-4	
集	実習指導者名 〇〇 〇〇		
	学生氏名	専門 太郎	
	時期	実習期間	1日当たりの 実習時間
	4月期	4月21日(火)~4月22日(水)	8時間
実習	5月期	5月18日(月)~5月20日(水)	8時間
期間	6~7月期	6月30日(火)~7月10日(金)	8時間
	9月期	9月14日(月)~9月25日(金)	8時間
	10 月期	10月20日(火)~10月27日(火)	8時間
	11~12月期	12月1日 (火) ~12月2日 (水)	8 時間

#### 【4月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
全般	受注管理、ダイレクトメール発送	事務所
(経営管理)		
オウトウ	オウトウ雨よけハウス栽培:人工受粉、	雨よけハウス、加温ハ
(生産管理)	防霜	ウス
	オウトウ加温ハウス栽培:着色管理	

#### 【5月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所	
全般	顧客管理、取引業者等との交渉・打合せ	事務所等	
(経営管理)	同行		
オウトウ	オウトウ雨よけハウス栽培:雨よけビニ	雨よけハウス、作業場	
(生産管理)	ール被覆、摘果		

作物名	実習内容	主たる実習場所
全般	作業進捗管理(摘蕾・収穫計画作成)、対	併設店舗及びカフェ
(経営管理)	面販売、接客	
オウトウ	オウトウ雨よけ栽培:収穫、選別、出荷	雨よけハウス、作業場
(生産管理)		

作物名	実習内容	主たる実習場所
全般	対面販売、接客	併設店舗及びカフェ
(経営管理)		
ブドウ、モモ、西	ブドウ、モモ、西洋ナシ:収穫、出荷	圃場
洋ナシ、リンゴ	リンゴ:着色管理	
(生産管理)		

### 【10月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
全般	受注・顧客管理、パンフレット送付	事務所
(経営管理)		
ブドウ、モモ、西	ブドウ、モモ、西洋ナシ:収穫、出荷	圃場
洋ナシ、リンゴ	リンゴ:着色管理	
(生産管理)		

作物名	実習内容	主たる実習場所
全般	顧客管理、生産費計算、収支計算、決算	事務所等
(経営管理)	資料作成	
全般	農作業用機械メンテナンス等	作業場
(生産管理)		

# 農業経営学科モデル例②(果樹)

(様式第9号-1)

### 臨地実務実習実施計画書

(実習名:臨地実務実習Ⅲ)

卒業研究テーマ「ユニバーサルデザイン (UD) による観光果樹園を主体とした農業の新規事業展開について」

	実習先名	OOOO77-A	
実習指導者名 〇〇 〇〇			
	学生氏名	専門 太郎	
	時期	実習期間	1日当たりの 実習時間
4 )	4月期	4月19日(月)~4月30日(金)	8時間
実習	5月期	5月18日(火)~5月19日(水)	8時間
期間	6~7月期	6月29日(火)~7月1日(木)	8時間
	9月期	9月13日(月)~9月22日(水)	8時間
	10 月期	10月19日(火)~10月26日(火)	8時間
	11~12月期	12月2日(木)~12月3日(金)	8 時間

#### 【4月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
全般	UD 計画作成、顧客受入準備	事務所
(経営総合)		
全般	受注管理、ダイレクトメール発送	事務所
(経営管理)		
オウトウ	オウトウ雨よけハウス栽培:人工受粉、	雨よけハウス、加温ハ
(生産管理)	防霜	ウス
	オウトウ加温ハウス栽培:着色管理	

#### 【5月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
全般	顧客受入準備、UD 対応	事務所
(経営総合)		
全般	受注管理、取引業者等との交渉・打合せ	事務所等
(経営管理)	同行	
オウトウ	オウトウ雨よけハウス栽培:雨よけビニ	雨よけハウス、作業場
(生産管理)	一ル被覆、摘果	

### 【6~7月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
全般	アンケート調査	併設店舗及びカフェ、
(経営総合)		事務所
全般	対面販売、接客	併設店舗及びカフェ
(経営管理)		
オウトウ	オウトウ雨よけ栽培:収穫、選別、出荷	雨よけハウス、作業場
(生産管理)		

### 【9月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
全般	アンケート調査	併設店舗及びカフェ、
(経営総合)		事務所
全般	対面販売、接客	併設店舗及びカフェ
(経営管理)		
ブドウ、モモ、西	ブドウ、モモ、西洋ナシ:収穫、出荷	圃場
洋ナシ、リンゴ	リンゴ:着色管理	
(生産管理)		

### 【10月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
全般	アンケート調査	併設店舗及びカフェ、
(経営総合)		事務所
全般	受注・顧客管理、パンフレット送付	事務所
(経営管理)		
ブドウ、モモ、西	ブドウ、モモ、西洋ナシ:収穫、出荷	圃場
洋ナシ、リンゴ	リンゴ:着色管理	
(生産管理)		

作物名	実習内容	主たる実習場所
全般	アンケートの取りまとめ、改善プラン作	併設店舗及びカフェ、
(経営総合)	成	事務所
全般	受注・顧客管理、資金管理、取引業者等	事務所等
(経営管理)	との交渉・打合せ同行	
全般	農作業用機械メンテナンス等	作業場
(生産管理)		

# 農業経営学科モデル例③(花き)

(様式第9号-1)

### 令和7年度 臨地実務実習実施計画書

(実習名:臨地実務実習 I )

	実習先名	○○○□園芸	
美	医習指導者名	00 00	
	学生氏名	専門 花太郎	
	時期	実習期間	1日当たりの 実習時間
	4月期	4月21日(月)~4月25日(金)	8時間
実習	5月期	5月19日(月)~5月23日(金)	8時間
期間	6~7月期	7月7日(月)~7月11日(金)	8 時間
	9月期	9月16日(火)~9月22日(月)	8時間
	10 月期	10月20日(月)~10月28日(火)	8時間
	11~12月期	12月1日(月)~12月2日(火)	8 時間

### 【4月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
サンパチェンス	土詰め、挿し穂、灌水、鉢上げ、出荷	鉢物栽培ハウス
(生産管理)		

#### 【5月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
ミニシクラメン	鉢上げ、灌水	鉢物栽培ハウス
(生産管理)		

#### 【6~7月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
ミニシクラメン	灌水、鉢ずらし	鉢物栽培ハウス
(生産管理)		

#### 【9月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
ミニシクラメン	葉摘み、株整理、灌水	鉢物栽培ハウス
(生産管理)		

### 【10月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
ミニシクラメン	株整理、出荷	鉢物栽培ハウス
(生産管理)		

作物名	実習内容	主たる実習場所
サンパチェンス	育苗用土準備、苗管理	鉢物栽培ハウス
(生産管理)		

# 農業経営学科モデル例③(花き)

(様式第9号-1)

### 令和8年度 臨地実務実習実施計画書

(実習名:臨地実務実習Ⅱ )

	実習先名	○○○○園芸	
美	<b>医習指導者名</b>	00 00	
	学生氏名	専門 花太郎	
	時期	実習期間	1日当たりの 実習時間
	4月期	4月20日(月)~4月24日(金)	8時間
実習	5月期	5月18日(月)~5月22日(金)	8時間
期間	6~7月期	7月6日(月)~7月10日(金)	8時間
	9月期	9月14日(月)~9月18日(金)	8時間
	10 月期	10月19日(月)~10月27日(火)	8時間
	11~12月期	12月7日 (月) ~12月8日 (火)	8 時間

#### 【4月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
ミニシクラメン	作付計画・施設の稼働シミュレーション	事務所
(経営管理)	作成	
サンパチェンス	土詰め、挿し穂、灌水、鉢上げ	鉢物栽培ハウス
(生産管理)		

### 【5月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
ミニシクラメン	受注管理	事務所
(経営管理)		
サンパチェンス	株管理、出荷	鉢物栽培ハウス
(生産管理)		

作物名	実習内容	主たる実習場所
全般(経営管理)	作業進捗管理(作業計画作成、労務管理	事務所
	計画作成等)	
ミニシクラメン	灌水、鉢ずらし	鉢物栽培ハウス
(生産管理)		

作物名	実習内容	主たる実習場所
全般(経営管理)	次作経費、販売計画立案	事務所
ミニシクラメン	葉摘み、株整理、灌水	鉢物栽培ハウス
(生産管理)		

# 【10月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
サンパチェンス	栽培計画・施設の稼働シミュレーション	事務所
(経営管理)	作成	
ミニシクラメン	株整理、出荷	鉢物栽培ハウス
(生産管理)		

作物名	実習内容	主たる実習場所
サンパチェンス	顧客管理、生産費計算、収支計算、決算	事務所
(経営管理)	資料作成	
サンパチェンス	育苗用土準備、苗管理	鉢物栽培ハウス
(生産管理)		

# 農業経営学科モデル例③(花き)

(様式第9号-1)

### 令和9年度 臨地実務実習実施計画書

(実習名:臨地実務実習Ⅲ )

卒業研究テーマ「B to B」事業者による「B to C」実践による販路拡大とPR効果の 検証

	実習先名	○○○□園芸	
美	<b>医</b> 習指導者名	00 00	
	学生氏名	専門 花太郎	
	時期	実習期間	1日当たりの 実習時間
	4月期	4月19日(月)~4月23日(金)	8時間
実習	5月期	5月17日(月)~5月21日(金)	8時間
期間	6~7月期	7月5日(月)~7月9日(金)	8 時間
	9月期	9月13日(月)~9月17日(金)	8時間
	10 月期	10月18日(月)~10月26日(火)	8時間
	11~12月期	12月1日(水)~12月2日(木)	8 時間

#### 【4月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
直販(経営総合)	販売ブース準備、アンケート準備	資材保管庫、事務所
ミニシクラメン	栽培計画・施設の稼働シミュレーション	事務所
(経営管理)	作成	
サンパチェンス	土詰め、挿し穂、灌水、鉢上げ	鉢物栽培ハウス
(生産管理)		

#### 【5月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
直販(経営総合)	店舗販売(B to Cの実践)	資材保管庫
ミニシクラメン	労務管理計画作成	事務所
(経営管理)		
サンパチェンス	株管理、出荷	鉢物栽培ハウス
(生産管理)		

### 【6~7月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
直販 (経営総合)	店舗販売(B to Cの実践)	資材保管庫
全般(経営管理)	次作作付計画立案	事務所
ミニシクラメン	灌水、鉢ずらし	鉢物栽培ハウス
(生産管理)		

### 【9月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
直販 (経営総合)	アンケート集計	事務所
全般(経営管理)	次作経費、販売計画立案	事務所
ミニシクラメン	葉摘み、株整理、灌水	鉢物栽培ハウス
(生産管理)		

#### 【10月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
直販 (経営総合)	次作販売戦略構築	事務所
サンパチェンス	栽培計画・施設の稼働シミュレーション	事務所
(経営管理)	作成	
ミニシクラメン	株整理、出荷	鉢物栽培ハウス
(生産管理)		

作物名	実習内容	主たる実習場所
直販 (経営総合)	次作販売戦略構築	事務所
サンパチェンス	労務管理計画作成	事務所
(経営管理)		
サンパチェンス	育苗用土準備、苗管理	鉢物栽培ハウス
(生産管理)		

# 農業経営学科モデル例④(畜産)

(様式第9号-1)

### 令和7年度 臨地実務実習実施計画書

(実習名:臨地実務実習 I )

	実習先名	○○○畜産	
実習指導者名 〇〇 〇〇			
	学生氏名	畜産 太郎	
	時期	実習期間	1日当たりの 実習時間
	4月期	4月21日(月)~4月25日(金)	8時間
実習	5月期	5月19日(月)~5月23日(金)	8時間
期間	6~7月期	7月7日(月)~7月11日(金)	8 時間
	9月期	9月16日(火)~9月19日(金)	8時間
	10 月期	10月20日(月)~10月24日(金)	8時間
	11~12月期	12月1日(月)~12月5日(金)	8時間

#### 【4月期実習計画】

畜種	実習内容	主たる実習場所
繁殖牛(生産管	給餌、牛床清掃、糞尿処理、母牛管理	繁殖牛舎、堆肥舎、敷料
理)		保管庫

#### 【5月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
繁殖牛(生産管	給餌、牛床清掃、糞尿処理、種つけ	繁殖牛舎、堆肥舎、敷料
理)		保管庫

### 【6~7月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
繁殖牛(生産管	給餌、牛床清掃、糞尿処理、子牛管理	繁殖牛舎、堆肥舎、敷料
理)		保管庫

#### 【9月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
肥育牛(生産管	飼料作物管理、給餌、牛床清掃、糞尿処	肥育牛舎、堆肥舎、敷料
理)	理	保管庫

### 【10月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
肥育牛(生産管	配合飼料調整、給餌、牛床清掃、糞尿処	肥育牛舎、堆肥舎、敷料
理)	理、ホールクロップサイレージ稲収穫・	保管庫
	ラッピング	

作物名	物名 実習内容 主たる実習	
肥育牛(生産管	給餌、牛床清掃、糞尿処理、血液検査、	肥育牛舎、堆肥舎、敷料
理)	ホールクロップサイレージ稲収穫・ラッ	保管庫
	ピング	

# 農業経営学科モデル例④(畜産)

(様式第9号-1)

### 令和8年度 臨地実務実習実施計画書

(実習名:臨地実務実習Ⅱ )

	実習先名	○○○畜産	
集	<b>医習指導者名</b>	00 00	
	学生氏名	畜産 太郎	
	時期	実習期間	1日当たりの 実習時間
	4月期	4月20日(月)~4月24日(金)	8時間
実習	5月期	5月18日(月)~5月22日(金)	8時間
期間	6~7月期	7月6日(月)~7月10日(金)	8時間
	9月期	9月15日(火)~9月18日(金)	8時間
	10 月期	10月19日(月)~10月23日(金)	8時間
	11~12月期	12月7日(月)~12月11日(金)	8 時間

### 【4月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
繁殖牛(経営管	生産費計算、収支計算、人員配置と労務	繁殖牛舎、事務所
理)	管理	
繁殖牛(生産管	給餌、牛床清掃、糞尿処理、母牛管理	繁殖牛舎、堆肥舎、敷料
理)		保管庫

### 【5月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
繁殖牛(経営管	生産費計算、収支計算、人員配置と労務	繁殖牛舎、事務所
理)	管理	
繁殖牛(生産管	給餌、牛床清掃、糞尿処理、種つけ	繁殖牛舎、堆肥舎、敷料
理)		保管庫

作物名	実習内容	主たる実習場所
繁殖牛(経営管	生産費計算、収支計算、人員配置と労務	繁殖牛舎、事務所
理)	管理	
繁殖牛(生産管	給餌、牛床清掃、糞尿処理、子牛管理	繁殖牛舎、堆肥舎、敷料
理)		保管庫

作物名	実習内容	主たる実習場所
肥育牛(経営管	飼料作物のコスト計算、生産原価の計	肥育牛舎、事務所
理)	算、決算資料作成	
肥育牛(生産管	飼料作物管理、給餌、牛床清掃、糞尿処	肥育牛舎、堆肥舎、敷料
理)	理	保管庫

# 【10月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
肥育牛(経営管	配合飼料のコスト計算、生産原価の計	肥育牛舎、事務所
理)	算、決算資料作成	
肥育牛(生産管	配合飼料調整、給餌、牛床清掃、糞尿処	肥育牛舎、堆肥舎、敷料
理)	理、ホールクロップサイレージ稲収穫・	保管庫
	ラッピング	

作物名	実習内容	主たる実習場所
肥育牛(経営管	肉質と販売単価の試算、生産原価の計	肥育牛舎、事務所
理)	算、決算資料作成	
肥育牛(生産管	給餌、牛床清掃、糞尿処理、血液検査、	肥育牛舎、堆肥舎、敷料
理)	ホールクロップサイレージ稲収穫・ラッ	保管庫
	ピング	

# 農業経営学科モデル例④(畜産)

(様式第9号-1)

### 令和9年度 臨地実務実習実施計画書

(実習名:臨地実務実習Ⅲ)

卒業研究テーマ「母牛を中心とした繁殖牛への自給ホールクロップサイレージの給餌による飼料の国産化と健全育成)

	実習先名	○○○○畜産	
美	<b>ミ</b> 習指導者名	00 00	
	学生氏名	畜産 太郎	
	時期	実習期間	1日当たりの 実習時間
	4月期	4月19日(月)~4月23日(金)	8時間
実習	5月期	5月17日(月)~5月21日(金)	8時間
期間	6~7月期	7月5日(月)~7月9日(金)	8 時間
	9月期	9月14日(火)~9月17日(金)	8 時間
	10 月期	10月18日(月)~10月22日(金)	8 時間
	11~12月期	12月6日(月)~12月10日(金)	8 時間

#### 【4月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
繁殖牛(経営総	国産飼料の作付計画立案、ホールクロ	繁殖牛舎、事務所
合)	ップサイレージの給餌、母牛管理、種付	
	( <del>)</del>	
繁殖牛(経営管	生産原価の計算、損益分岐点の計算、人	繁殖牛舎、事務所
理)	員配置と労務管理	
繁殖牛(生産管	給餌、牛床清掃、糞尿処理、母牛管理、	繁殖牛舎、堆肥舎、敷料
理)	種付け、子牛管理	保管庫

#### 【5月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
繁殖牛(経営総	ホールクロップサイレージの給餌、母牛	繁殖牛舎、事務所
合)	管理、種付け、受胎率調査	
繁殖牛(経営管	生産原価の計算、損益分岐点の計算、人	繁殖牛舎、事務所
理)	員配置と労務管理	
繁殖牛(生産管	給餌、牛床清掃、糞尿処理、母牛管理、	繁殖牛舎、堆肥舎、敷料
理)	種付け、子牛管理	保管庫

### 【6~7月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
繁殖牛(経営総	ホールクロップサイレージの給餌、母牛	繁殖牛舎、事務所
合)	管理、種付け、受胎率調査	
繁殖牛(経営管	生産原価の計算、損益分岐点の計算、人	繁殖牛舎、事務所
理)	員配置と労務管理	
繁殖牛(生産管	給餌、牛床清掃、糞尿処理、母牛管理、	繁殖牛舎、堆肥舎、敷料
理)	種付け、子牛管理	保管庫

### 【9月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
繁殖牛(経営総	子牛管理・発育調査、大規模ホールクロ	繁殖牛舎、事務所
合)	ップサイレージ生産用機械の比較検討	
繁殖牛(経営管	飼料作物のコスト計算、生産原価の計	繁殖牛舎、事務所
理)	算、損益分岐点の計算	
繁殖牛(生産管	給餌、牛床清掃、糞尿処理、母牛管理、	繁殖牛舎、堆肥舎、敷料
理)	種付け、子牛管理	保管庫

### 【10月期実習計画】

作物名	実習内容	主たる実習場所
繁殖牛(経営総	子牛管理・発育調査、大規模ホールクロ	繁殖牛舎、事務所
合)	ップサイレージ生産時の生産費用試算	
	と輸入飼料との比較検討	
繁殖牛(経営管	飼料作物のコスト計算、生産原価の計	繁殖牛舎、事務所
理)	算、損益分岐点の計算	
繁殖牛(生産管	給餌、牛床清掃、糞尿処理、母牛管理、	繁殖牛舎、堆肥舎、敷料
理)	種付け、子牛管理、ホールクロップサイ	保管庫
	レージ稲収穫・ラッピング	

作物名	実習内容	主たる実習場所
繁殖牛(経営総	ホールクロップサイレージ利用による	繁殖牛舎、事務所
合)	経営試算と戦略構築	
繁殖牛(経営管	飼料作物のコスト計算、生産原価の計	繁殖牛舎、事務所
理)	算、損益分岐点の計算、税務処理	
繁殖牛(生産管	給餌、牛床清掃、糞尿処理、母牛管理、	繁殖牛舎、堆肥舎、敷料
理)	種付け、子牛管理、ホールクロップサイ	保管庫
	レージ稲収穫・ラッピング	

授業名	 臨地実務須	 実習 I (生産	管理等)			単位数	8単位	授業の方法	 実習
On-site p	ractical tra	ining I (Pro	oduction ma	anagemer	nt)		, ,	2年 通年	
受講対象	農林業経営	営学部 農業	<b>美経営学科</b>			科目区分		必修	
授業コード	A212		教員名	○小沢	同	、農業経営	学科の全事	<b></b> 事任教員	
授業時間	ク(計30日) 後期15日 [9月、10月	6月下旬〜 の中から任 、12月の各 の計15日を	意の計15日 2週間の実	を選択			教 室	臨地実務領	実習地
オフィスアワー	随時受付に	ける。ただし	、事前にメー	ールで連絡	各つ	けること。			
メールアドレス	○○@pref.	.yamagata.j <sub>l</sub>	)						
授業概要	事業内容にな事である	こ応じマッチ	ングした優々 は優れた農	れた農業 :業経営位	経	営体の元で	実習を受け	ンを描くために、 けることは非常に 経営体の持つ。	有意義
授業目的·目標	に関する知 学んだこと	1識や技術を をレポートに	と理解する。 まとめ、発	表すること	ごが	できる。		の持つ優れた生	
準備学習等		)確認•予習	を必ず行し	、復習内	了容		うちに日記	に記録すること	-0
	回数	10 110				内容			
	1,2	ガイダンス							
	3~22	【4月期】水	福播種(播	植、乾田	直	(番)、圃場準	写備(堆肥施 ———————	6用、肥料散布)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	23~46	【5月期】田	植え						
授業計画•内容	47~58	【6~7月期	]ダイズ播種	重、水田區	引場	景管理(草刈	り、水管理	)	
	59~86	【9月期】稲	刈り、乾燥詞	調製					
	87~106	【10月期】タ	ブイズ収穫						
	107~118	【11~12月	期】ダイズ訓	周整、農榜		 L整備			
	119, 120	報告会							
キーワード	臨地実務第	<b>美習、生産管</b>	<b>管理</b>						
教科書•参考書	最初の実習	習で資料を酉	己布するほか	が、適宜、	必	要な資料を	配布する。		
評価方法・評価基準	報告書(40 (25%)	%)、自己点	点検表(10%	。)、臨地:	 実		者による評	価(25%)、報告	<del></del>
関連科目		[、圃場実習 営管理等)。					産」、農業	実地体験実習、	臨地実務
履修要件	「圃場実習	I」等を通し	ごて、基礎的	力な技術を	<u>-</u> 身	に付けてい	ること。		
備考	等実施要領マッチング 実習計画を 長期の宿泊	頁」に基づき ・決定し、実 と決定する。	、履修前年 習先・学生 となるため、	度の11月 ・担当教 、規則正	]に 員 ル	工、担当教員 が協議した。 い生活に心>	が学生の 上で、3回か	実際には「臨地覧 希望に応じ、実 ら118回までの 管理に留意する	習先を 具体的な

授業名	 臨地実務 <sup>[</sup>		上 全管理等)		単位数	8単位	授業の方法	 実習	
On-site pra				nagement)		~ 1 177	2年 通年	/ <b>&gt;</b> H	
受講対象					科目区分				
授業コード	A212	1 12 1		〇小沢 亙		営料の全			
授業時間	ウィーク(計 後期15日 [9月、10月	├30日)の中	から任意の ▶2週間の実	D各2週間の D計15日を 実習ウィーク	選択]	教 室	臨地実務領	実習地	
オフィスアワー	随時受付的	ナる。 ただし	、事前にメ	ールで連絡	iすること。		•		
メールアドレス	○○@pref	.yamagata.j	ip						
授業概要	や事業内容 意義な事で	○@pref.yamagata.jp らが将来携わりたい農業経営形態について深く学び、経営ビジョンを描くために、作目 事業内容に応じマッチングした優れた農業経営体の元で実習を受けることは非常に有 義な事である。本科目では優れた農業経営体での実習を通じて、農業経営体の持つ生 管理に関する知識や技術を主に学ぶ。							
授業目的・目標	理に関する	れた農業経営体(法人、個人等)での実習を通じて、農業経営体の持つ優れた生産管 こ関する知識や技術を理解する。 いだことをレポートにまとめ、発表することができる。							
準備学習等	作業内容の	の確認・予習	習を必ず行	い、復習内	容はその日	のうちに日	誌に記録する	こと。	
	回数				内容				
	1,2 3~22	ガイダンス	ウトウ栽培	<u>─────</u>	受粉 防電	加担ハウ	ス栽培の着色管	<b>シェニー</b>	
	23~30 【5月期】オウトウ栽培管理(ビニール被覆、摘果、加温ハウス栽培の果実収穫) 31~58 【6~7月オウトウ雨よけハウス栽培の果実収穫、選別、出荷								
授業計画・内容	31~58	【6~7月才	ウトウ雨より	ナハウス栽培	音の果実収	穫、選別、	出荷		
	59~86	【9月期】ブ	ドウ、モモ、	、西洋ナシ(	(早生品種)	の収穫、リ	ンゴ着色管理		
	87~110	【10月期】リ	ンゴ収穫、	出荷、西洋	ナシ(ラ・フ	ランス)出る	带		
	111~118	【11~12月	期】リンゴ、	西洋ナシ出	出荷、雪対領	食(支柱設計	置等、大枝の剪	定)	
	119, 120	報告会							
キーワード	臨地実務等	実習、生産管	管理						
教科書·参考書	最初の実習	留で資料を	配布するほ	か、適宜、	必要な資料	を配布する	సం		
評価方法•評価基準	報告書(40 (25%)	)%)、自己,	点検表(10	%)、臨地第	<b>天務実習指</b>	尊者による	評価(25%)、幸		
関連科目				」「果樹」「野 也実務実習 <b>」</b>			業実地体験実習	3、臨地	
履修要件	「圃場実習	I」等を通	じて、基礎	的な技術を	身に付けて	いること。			
備考	習等実施 先をマッチ 具体的な 長期の宿	要領」に基つ ング・決定し 実習計画を 白を伴う実習	づき、履修育 し、実習先 決定する。 習となるため	前年度の11 ・学生・担当	月に、担当 新員が協議 い生活に心	教員が学生 義した上で	, 実際には「臨 生の希望に応じ 、3回から118回 調管理に留意す	、実習 までの	

授業名	臨地実務等	 実習 I (生)	<u></u> 産管理等)		単位数	8単位	授業の方法	実習		
On-site pra	actical trair	ning I (Pro	duction ma	nagement)	履修年次		2年 通年			
受講対象	農林業経常	営学部 農	業経営学科	4	科目区分		必修			
授業コード	A212		教員名	○小沢 亙	L、農業経営	営料の全	専任教員			
授業時間	ウィーク(計 後期15日	├30日)の中  、12月の名	つから任意の 予2週間の第	D各2週間 <i>の</i> D計15日を ミ習ウィーク	選択]	教 室	臨地実務領	<b></b> 尾習地		
オフィスアワー	随時受付に	ナる。 ただし	、事前にメ	ールで連絡	子すること。		•			
メールアドレス	○○@pref	.yamagata.	jp							
授業概要	や事業内容意義な事で	容に応じマ である。本種	ッチングしオ	と優れた農 れた農業経	業経営体の	元で実習	ションを描くため( を受けることはす て、農業経営体	常に有		
	理に関する	れた農業経営体(法人、個人等)での実習を通じて、農業経営体の持つ優れた生産管に関する知識や技術を理解する。 んだことをレポートにまとめ、発表することができる。								
準備学習等	作業内容の	の確認・予	習を必ず行	い、復習内	容はその日	のうちにE	記録する	こと。		
	回数				内容					
	1、2 ガイダンス 2 1、2 h 女 然 四 / L 計 は ・									
	3~22 【4月期】サンパチェンス生産管理(土詰め、挿し穂、灌水、鉢上げ、出荷)									
	23~42	【5月期】ミ	ニシクラメン	生產管理(	鉢上げ、灌	水)				
授業計画·内容	43~62	【6~7月期	引ミニシクラ	メン生産管	理(灌水、釒	本ずらし)				
	63~82	【9月期】ミ	ニシクラメン	生產管理(	葉摘み、株	整理、灌力	()			
	83~110	【10月期】	ミニシクラメ	ン生産管理	(株整理、片	出荷)				
	111~118	【11~12月	期】サンパ	チェンス生	産管理(育富	苗用土準備	請、苗管理)			
	119, 120	報告会								
キーワード	臨地実務領	実習、生産	管理							
教科書•参考書	最初の実習	習で資料を	配布するほ	か、適宜、	必要な資料	を配布する	5.			
評価方法・評価基準	報告書(40 (25%)	)%)、自己	点検表(10	%)、臨地建	寒務実習指	尊者による	評価(25%)、幸	B告会		
関連科目					『菜・花き』「 Ⅲ(経営総合		業実地体験実習	3、臨地		
履修要件	「圃場実習	「Ⅰ」等を通	じて、基礎	的な技術を	身に付けて	いること。				
備考	務実習等等 習先をマッ 具体的な算 長期の宿泊	実施要領」( ・チング・決 実習計画を 白を伴う実習	こ基づき、原定し、実習決定する。 望となるため	愛修前年度 先・学生・担	の11月に、 1当教員が協 い生活に心	担当教員な協議した上	Dで、実際には が学生の希望に で、3回から118 調管理に留意す	応じ、実 回までの		

授業名	臨地実務等	実習 I(生産	全 全管理等)		Т	単位数	8単位	授業の方法	 実習
		ning I (Pro		nagement	:)		0十匹	2年 通年	<u> </u>
受講対象		当学部 農業			-	科目区分		 必修	
<u>                                    </u>	A212	1 7 AF 12 A			_		  学科の全		
授業時間	ウィーク(言 後期15日 [9月、10月	、6月下旬〜 †30日)の中 引、12月の名 £意の計15	-7月上旬 <i>0</i> から任意 <i>0</i> -2週間の実	)各2週間 )計15日を	のと選	実習選択]	教 室	臨地実務領	実習地
オフィスアワー	随時受付は	ける。ただし	、事前にメ	ールで連	絡	すること。			
メールアドレス	○○@pref	f.yamagata.j	p						
授業概要	や事業内容	容に応じマッ	ッチングした 目では優え	と優れた農 れた農業線	13	<b>業経営体の</b>	元で実習る	ョンを描くためん を受けることはす て、農業経営体	常に有
授業目的·目標	理に関する学んだこと	る知識や技行をレポートに	術を理解す こまとめ、発	る。 き表するこ	<u>ځ</u>	ができる。		本の持つ優れた	
準備学習等	作業内容の	の確認・予習	習を必ず行	い、復習に	勺:	容はその日	のうちに日	誌に記録する	こと。
	回数					内容			
	1,2	ガイダンス							
	3 <b>∼</b> 22	【4月期】繁	殖牛生産管	<b>萱理(給餌</b>	``	牛床清掃、	糞尿処理、	、母牛管理)	
	23~42	【5月期】繁			_				
  授業計画·内容	43~62	【6~7月期	】繁殖牛生	達管理(紅	合	餌、牛床清	掃、糞尿処	<u>」</u> 理、子牛管理)	
	63~78	【9月期】肥	育牛生産管	管理(飼料	作	物管理、絲	合餌、牛床沒	青掃、糞尿処理	!)
	79~98	【10月期】 ルクロップ・					給餌、牛床	清掃、糞尿処理	里、ホー
	99~118 119,120	ルクロップ・					清掃、糞尿	· 如理、血液検3	查、ホー
		1							
キーワード 	臨地実務領	実習、生産行	管理 ————						
教科書·参考書	最初の実	習で資料を	配布するほ	か、適宜	, J	必要な資料	を配布する	٥٠.	
評価方法・評価基準	報告書(40 (25%)	0%)、自己,	点検表(10	%)、臨地	実	務実習指	導者による	評価(25%)、幸	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
関連科目		I、圃場実₹ Ⅱ(経営管理						業実地体験実習	3、臨地
履修要件	 「圃場実習	▍Ⅰ」等を通	じて、基礎に	的な技術	を	<u></u> 身に付けて	こいること。		
備考	習等実施! をマッチン 的な実習! 長期の宿?	要領」に基っ グ・決定し、 計画を決定	ゔき、履修育 実習先・学 する。 習となるため	前年度の1 生・担当 シ、規則正	1 数 し	目に、担当! 員が協議し い生活に心	教員が学生 た上で、3[	実際には「臨地 の希望に応じ、 可から118回まで 調管理に留意す	実習先

授業名	臨地実務	実習Ⅱ(経常			単位数	8単位	授業の方法	 実習	
1			usiness ma	nagement)		- 1 1	3年 通年	711	
受講対象	農林業経常	営学部 農	業経営学科	Ļ	科目区分		必修		
授業コード	A305		教員名	○小沢 ፮	工、農業経営	営料の全	専任教員		
授業時間	ウィーク(計 後期15日 [9月、10月	├30日)の中	~7月上旬 <i>0</i> Pから任意 <i>0</i> 予2週間の実 日を選択]	)計15日を	選択]	教 室	臨地実務領	実習地	
オフィスアワー	随時受付的	する。 ただし	、事前にメ	ールで連絡	各すること。		•		
メールアドレス	○○@pref	yamagata.	jp						
授業概要	農業経営(	目らが将来携わりたい農業経営形態について深く学び、経営ビジョンを描くために、優れた 農業経営体の元で実習を受けることは非常に有意義な事である。本科目では、優れた農 経経営体の元で実習を行い、これまで学んできた生産管理に関する知識と技術を使いな がら、経営管理に関する実践的な知識や技術について主に学ぶ。							
授業目的·目標	集と利用な	業経営体の持続と発展に向けた適切な生産方法、効率的な人員配置、生産情報の収 と利用など、経営管理に関する実践的な知識や技術について理解する。 よんだ内容をレポートにまとめ、説明することができる。							
準備学習等	作業内容の	の確認・予	習を必ず行	い、復習内	容はその日	のうちに日	誌に記録する	_と。	
	回数				内容				
	1、2 ガイダンス								
	3~6				式、顧客管理 (二古)		terrolal Het. 1		
	7~10				<b>艺田直播、</b> 堆		巴料散布) —————		
					理、受注管理	里)			
	19~22		産管理(田						
	23~46	【6~7月期	引経営管理	(栽培進捗	管理、受注	管理)			
授業計画•内容	47~58	【6~7月期	】生産管理	(ダイズ播	種、畦畔草	切り、水田	水管理)		
	59~74			-	理、水稲刈]	取り計画作	:成)		
			産管理(稲						
	83~98	【10月期】	経営管理(フ	大豆刈取り	計画作成、	進捗管理)			
	99~106	【10月期】	生産管理(タ	ダイズ収穫)	)				
	107~114	【11~12月	期】経営管	理(生産費	計算、収支	計算、決算	算資料作成)		
	115~118	【11~12月	期】生産管	理(ダイズ	調整、農機。	具整備)			
	119,120	報告会							
キーワード	臨地実務等	実習、経営*	管理						
教科書·参考書	適宜、必要	でな資料を関	記布する。						
評価方法・評価基準	報告書(40 (25%)	)%)、自己	点検表(10	%)、臨地等	実務実習指	導者による	評価(25%)、幸	2告会	
関連科目	圃場実習	I、圃場実	習Ⅱ「稲作」	「果樹」「野	予菜・花き」「	畜産」、農	国際農業・森林 業経済学、国際 実習Ⅲ(経営総	農業論、	
履修要件		実習 I 」、 けけているこ		I 」等を通し	 ごて、生産管	理に関す	る実践的な知識	せ 技術	
備考	習等実施! をマッチン体的な実育 長期の宿?	要領」に基っ グ・決定し、 習計画を決 自を伴う実習	づき、履修前 , 実習先・学 定する。	前年度の11 全生・担当着 ○、規則正し	月に、担当 対員が協議し い生活に心	教員が学生 た上で、3	実際には「臨地 もの希望に応じ 回から118回ま 関管理に留意す	、実習先 での具	

授業名	臨地宝務!	実習 Ⅲ(紹	· E営管理等)		単位数	8単位	授業の方法	 実習
			Business ma	anagement)		0+14	3年 通年	
受講対象			農業経営学		科目区分		必修	
授業コード	A305		教員名	〇小沢 ]	亙、農業経営	営学科の全	主専任教員	
授業時間	ウィーク(記 後期15日 [9月、10月	十30日)の 月、12月の	1~7月上旬0 中から任意0 各2週間の9 5日を選択]	の計15日を	選択]	教 室	臨地実務領	実習地
オフィスアワー	随時受付	ける。ただ	し、事前にス	ノールで連絡	絡すること。		!	
メールアドレス	○○@pref	f.yamagata	a.jp					
授業概要	た農業経営	目らが将来携わりたい農業経営形態について深く学び、経営ビジョンを描くために、優れ 上農業経営体の元で実習を受けることは非常に有意義な事である。本科目では、優れた 農業経営体の元で実習を行い、これまで学んできた生産管理に関する知識と技術を使い よがら、経営管理に関する実践的な知識や技術について主に学ぶ。						
授業目的·目標	集と利用な	送営体の持続と発展に向けた適切な生産方法、効率的な人員配置、生産情報の収用など、経営管理に関する実践的な知識や技術について理解する。 内容をレポートにまとめ、説明することができる。						青報の収
準備学習等	作業内容の	の確認・子	習を必ず行	「い、復習内	内容はその日	のうちにほ	目誌に記録する	こと。
	回 数				内 容			
	1,2	ガイダン	ス					
	3~8	【4月期】	経営管理(作	乍付計画作	成、受注管	理、加温/	<b>ヽ</b> ウス栽培の着	色管理)
	9~10	【4月期】	生産管理(>	ナウトウ人エ	受粉、防霜	i)		
	11~18	【5月期】	経営管理(5	受注管理、	取引業者等	との交渉・	打合せ同行)	
	19~22	【5月期】	生産管理(>	ナウトウビニ	ール被覆、	摘果、加温	且ハウス栽培の	果実収穫
	23~46	【6~7月	期】経営管理	里(併設店舗	舗での対面	販売、接客	<b>(</b> )	
授業計画•内容	47~58	【6~7月	期】生産管理	里(オウトウ	収穫、選別、	出荷)		
	59~77	【9月期】	経営管理(信	并設店舗で	の対面販売	、接客)		
	78~86	【9月期】	生産管理(こ	ブドウ、モモ	大西洋ナシ	の収穫、出	は荷。リンゴの着	色管理)
	87~102	【10月期】	】経営管理(	受注•顧客	管理、パン	フレット送ん	付)	
	103~110	【10月期】	】生産管理(	ブドウ、モ	モ、西洋ナシ	の収穫、	出荷。リンゴのき	<b>善</b> 色管理)
	111~116	【11~12月	期】経営管理	理(受注•顧	客管理、生產	E費計算、4		資料作成)
	117~118	<b>[</b> 11~12,	月期】生産管	章理(農作	業用機械メン	/テナンス	等)	
	119、120	報告会						
キーワード	臨地実務	実習、経営	営管理					
教科書·参考書	適宜、必要	要な資料を	:配布する。					
評価方法・評価基準	報告書(40 (25%)	0%)、自己	已点検表(10	)%)、臨地	実務実習指	導者による	5評価(25%)、	報告会
関連科目	習、圃場第	関】 I 智利	場実習Ⅱ「♬	稲作」「果樹	引」「野菜・花	き」「畜産」	、国際農業・森 、農業経済学、 地実務実習Ⅲ(	国際農
履修要件	「臨地実務等を身に作			「Ⅰ」等を通	じて、生産管	管理に関す	る実践的な知識	戦や技術
備考	実習等実習先をマッの具体的に長期の宿	施要領」に ッチング・? な実習計 泊を伴う実	二基づき、履 決定し、実習 画を決定す	修前年度の 骨先・学生・ る。 め、規則正	の11月に、担 担当教員が しい生活に	3当教員が 協議した_	ご、実際には「略 3学生の希望に 上で、3回から1 調管理に留意	応じ、実 18回まで

授業名	施州宝教3			単位数	8単位	授業の方法	 実習			
I		training II (Business			0半1仏	投来の万 <u>本</u>   3年 通年	天白			
受講対象		当学部 農業経営学科		科目区分						
授業コード	A305	教員名	○小沢 亙、	農業経営学	科の全専作	<b></b> <b></b>				
授業時間	ク(計30日 後期15日 [9月、10月	、6月下旬~7月上旬 )の中から任意の計1 、12月の各2週間の 気の計15日を選択]	5日を選択]		教 室	臨地実務領	実習地			
オフィスアワー	随時受付に	する。ただし、事前にフ	メールで連絡す	<sup>-</sup> ること。						
メールアドレス	○○@pref	.yamagata.jp								
授業概要	農業経営の	自らが将来携わりたい農業経営形態について深く学び、経営ビジョンを描くために、優れた 農業経営体の元で実習を受けることは非常に有意義な事である。本科目では、優れた農業 圣営体の元で実習を行い、これまで学んできた生産管理に関する知識と技術を使いながら、 圣営管理に関する実践的な知識や技術について主に学ぶ。								
授業目的・目標	利用など、 学んだ内容	業経営体の持続と発展に向けた適切な生産方法、効率的な人員配置、生産情報の収集と 用など、経営管理に関する実践的な知識や技術について理解する。 んだ内容をレポートにまとめ、説明することができる。								
準備学習等		の確認・予習を必ず行	fい、復習内容		うちに日誌	に記録すること	-0			
	回数	<i>エ</i> シノ がく、つ		内容						
	1、2 ガイダンス 3~16 【4月期】ミニシクラメン経営管理(作付計画・施設の稼働シミュレーション作成、登注管理)									
	17~22	【4月期】サンパチェン	/ス生産管理(	上詰め、挿し	穂、灌水、	鉢上げ)				
	23~36									
	37~42 【5月期】サンパチェンス生産管理(株管理、出荷)									
	43~56 【6~7月期】全般経営管理(次作作付計画立案)									
授業計画•内容	57~62 [6~7月期]ミニシクラメン生産管理(灌水、鉢ずらし)									
技未引回・内谷	63~76 [9月期]全般経営管理(次作経費、販売計画立案)									
	77~82 [9月期]ミニシクラメン生産管理(葉摘み、株整理、灌水)									
	83~101	3~101【10月期】サンパチェンス経営管理(栽培計画・施設の稼働シミュレーション作成)								
	102~110 【10月期】ミニシクラメン生産管理(株整理、出荷)									
	111~116 【11~12月期】サンパチェンス経営管理(労務管理計画作成、顧客管理、生産費計算、収支計算、決算資料作成)									
		【11~12月期】サンパ	パチェンス生産や	· 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	土準備、	苗管理)				
	119、120	報告会								
キーワード	臨地実務等	<b>美習、経営管理</b>								
教科書·参考書	適宜、必要	な資料を配布する。								
評価方法・評価基準	報告書(40 (25%)	%)、自己点検表(10	)%)、臨地実務	務実習指導	者による評	価(25%)、報告	会			
関連科目	圃場実習	ング論、組織マネジメ I 、圃場実習Ⅱ「稲作 斤・計画、臨地実務実	ॱ」「果樹」「野菜	・花き」「畜	産」、農業組	経済学、国際農				
履修要件		実習Ⅰ」、「圃場実習 けていること。	Ⅰ」等を通じて	、生産管理	!に関する	実践的な知識や	₹技術等			
備考	実習等実施をマッチン な実習計画 長期の宿泊	・内容」については、『 ・ を要領」に基づき、履信 グ・決定し、実習先・学 画を決定する。 白を伴う実習となるたる 皆導・指示に従って、何	修前年度の11。 学生・担当教員 め、規則正しい	月に、担当すが協議した が協議した	数員が学生 上で、3回な	の希望に応じ、 から118回までの	実習先 )具体的			

授業名	臨地宝務宝器	習Ⅱ(経営管理等)		単位数	8単位	授業の方法	宝習		
1000		oractical training II(Business r	nanagement)		0平位	3年 通年	<del>大日</del>		
		学部 農業経営学科		科目区分		水修全専任教員  教室  臨地実務実習地  (人ために、優れた農業経営体の元で実活体の元で実習を行い、これまで学んで的な知識や技術について主に学ぶ。  生産情報の収集と利用など、経営管理録すること。  置と労務管理)  計算、人員配置と労務管理)  この計算、人員配置と労務管理)  子牛管理)  この計算、人員配置と労務管理)  ・薬尿処理)  価の計算、損益分岐点の計算)  、薬尿処理)  価の計算、損益分岐点の計算)			
授業コード	A305	教員名	○小沢 亙、農	農業経営学科の	D全専任教員				
授業時間	中から任意の 後期15日	月下旬~7月上旬の各2週間の 計15日を選択] 12月の各2週間の実習ウィーク			教 室	臨地実務	実習地		
オフィスアワー	随時受付ける	。ただし、事前にメールで連絡	iすること。	,		•			
メールアドレス	○○@pref.ya	magata.jp							
授業概要	習を受けるこ	とは非常に有意義な事である。	本科目では、	優れた農業経	営体の元で乳	<b>尾習を行い、これ</b>	まで学んで		
授業目的・目標	に関する実践 学んだ内容を	的な知識や技術について理角 レポートにまとめ、説明すること	解する。 とができる。			の収集と利用なと	、経営管理		
準備学習等		崔認・予習を必ず行い、復習内: ■	容はその日の		記録すること。				
	回数	. 12 / 12 \		内 容					
	1,2	ガイダンス	立典記憶 ib	士乱体 「口"		rHI /			
	3~16 【4月期】繁殖牛経営管理(生産費計算、収支計算、人員配置と労務管理)								
	17~22 【4月期】繁殖牛生産管理(給餌、牛床清掃、糞尿処理、母牛管理)								
	23~36 【5月期】繁殖牛経営管理(生産原価の計算、損益分岐点の計算、人員配置と労務管理)								
	37~42 【5月期】繁殖牛生産管理(給餌、牛床清掃、糞尿処理、種つけ)								
	43~56	【6~7月期】繁殖牛経営管理	(生産原価の	計算、損益分岐	支点の計算、	人員配置と労務管	管理)		
	57~62	【6~7月期】繁殖牛生産管理	(給餌、牛床清	青掃、糞尿処理	(、子牛管理)				
授業計画·内容	63~70	【9月期】肥育牛経営管理(飼	料作物のコス	ト計算、生産原	「価の計算、損	益分岐点の計算	草)		
	71~78	【9月期】肥育牛生産管理(飼	料作物管理、	給餌、牛床清	帚、糞尿処理)	)			
	79~92								
	93~98	【10月期】肥育牛生産管理(配合飼料調整、給餌、牛床清掃、糞尿処理、ホールクロップサイレージ稲収穫・ラッピング)							
	99~112	【11~12月期】肥育牛経営管:	理(肉質と販売	<b>売単価の試算、</b>	生産費計算、	修士計算、決算	〔資料作成)		
	113~118	【11~12月期】肥育牛生産管: 稲収穫・ラッピング)	理(給餌、牛房	· · · · · · · · · · · · · ·	理、血液検査	★、ホールクロップ	゚゚サイレージ		
	119、120	報告会							
キーワード	臨地実務実習	3、経営管理							
教科書•参考書	適宜、必要な	資料を配布する。							
評価方法・評価基準	報告書(40%	)、自己点検表(10%)、臨地実	系 発実習指導	者による評価(	25%)、報告会	<u>—</u> ———————————————————————————————————			
関連科目	習Ⅱ「稲作」「	マーケティング論、組織マネジメント論、税制・簿記論、簿記各論、国際農業・森林業実習、圃場実習 I 、圃場実習 I 「稲作」「果樹」「野菜・花き」「畜産」、農業経済学、国際農業論、農業経営分析・計画、臨地実務実習 I (生医管理等)、臨地実務実習Ⅲ(経営総合)							
履修要件	「臨地実務実 と。	習Ⅰ」、「圃場実習Ⅰ」等を通じ	て、生産管理	世に関する実践	的な知識や技	支術等を身に付け	ナているこ		
備考	き、履修前年 が協議した上 長期の宿泊を	対容」については、畜産のモデル度の11月に、担当教員が学生で、3回から118回までの具体も で、3回から118回までの具体も で、3年ではなっため、規則正し はずないで、作業を行うこ	の希望に応じ 内な実習計画 い生活に心か	、実習先をマッ を決定する。	・チング・決定	し、実習先・学生			

授業名	臨地実務実	習Ⅲ(経営総合	î)		単位数	8単位	授業の方法	 実習
	On-site p	ractical trainin	g ∭(Gener	al management	履修年次		4年 通年	
受講対象	農林業経営	学部 農業経営	学科		科目区分		必修	
授業コード	A401		教員名	〇小沢 亙	、農業経営学科	の全専任教	員	
授業時間	の中から任意 後期15日	の計15日を選 12月の各2週間	建択]	週間の実習ウイ・ ィーク(計30日)		教 室	臨地実務	実習地
オフィスアワー	随時受付ける	る。ただし、事育	前にメールて	で連絡すること。			I	
メールアドレス	○○@pref.ya	amagata.jp						
授業概要	優れた農業総 実習を通じ、	MY M	実習を受ける できた知識々	ることは非常にフ	有意義な事であ	る。本科目で	営形態に応じマ は、優れた農業 営戦略の立案・9	経営体での
授業目的•目標				・化し、農業経営 発表することが		題を分析、整	理して解決を図	るとともに、
準備学習等	作業内容の研	雀認・予習を必	ず行い、復	[習内容はその	目のうちに日誌	に記録するこ	೬.	
	回 数				内 容			
	1,2	ガイダンス						
	3~6	【4月期】経営	総合(スマ	一卜農機利用計	·画作成、圃場·	情報システム	操作方法)	
	7~10	【4月期】経営	管理(作付	計画作成、受活	主管理)			
	11~14	【4月期】生産	管理(水稲	播種、乾田直持	番、堆肥施用、原	肥料散布)		
	15~22	【5月期】経営	総合(作業	時間等調査)				
	23~28	【5月期】経営	管理(栽培	進捗管理、受活	主管理)			
	29~34	【5月期】生産	管理(田植	(え)				
	35~44	【6~7月期】	圣営総合(作	乍業時間等調査	至、規模拡大シ	ミュレーション	·)	
	45~52	【6~7月期】網	圣営管理(非	<sup> </sup>	受注管理)			
授業計画•内容	53~58	【6~7月期】	生産管理(タ	ダイズ播種、畦岡		水管理)		
	59~66	【9月期】経営	総合(作業	時間等調査、規	見模拡大シミュロ	ノーション)		
	67~72	【9月期】経営	管理(水稲	刈取り計画作品	成、進捗管理)			
	73~78	【9月期】生産	管理(稲刈	り、乾燥調製)				
	79~84	【10月期】経済	営総合(作業	業時間等調査)				
	85~92	【10月期】経済	対管理(大豆	ラ刈取り計画作	成、進捗管理)			
	93~98	【10月期】生產			//( /= // 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1			
	99~106				道入効果試質(	作業時間 /	上産費、収支))	
	107~112				収支計算、決算		山王县、14人//	
		-				平貝(竹下)以)		
	113~118 119, 120	【11~12月期 臨地実務実習		!(ダイズ調整、) 生全	<b>☆                                      </b>			
  キーワード				立案·実行手法	Ŀ			
教科書・参考書		資料を配布す		<u> </u>	<i>-</i>			
評価方法・評価基準	報告書(40%	)、自己点検表	長(10%)、臨	a 地実務実習指	f導者による評価	西(25%)、報	告会(25%)	
関連科目	等)、国際農		3、圃場実習				ā地実務実習Ⅱ :」「畜産」、農業	
履修要件	「臨地実務実	習Ⅱ」を通じて	て、経営管理	里等を身に付け	ていること。			
備考	基づき、履修 生・担当教員 長期の宿泊を	前年度の11月 が協議した上	に、担当着 で、3回から るため、規則	数員が学生の希 5118回までの身 則正しい生活に		引先をマッチン ・画を決定する		

授業名	臨地実務実	習Ⅲ(経営総合	<u></u> 計)		直	単位数	8単位	授業の方法	実習
		actical trainin		al managemer	nt)履	修年次		4年 通年	
受講対象	農林業経営	学部 農業経常	営学科			·目区分		必修	
授業コード	A401		教員名	○小沢 亙	、農業	経営学科	の全専任教	<u>員</u>	
授業時間	の中から任意 後期15日	月下旬~7月 気の計15日を選 12月の各2週 を選択]	選択]				教 室	臨地実務	実習地
オフィスアワー	随時受付ける	る。ただし、事	前にメール゛	で連絡すること	<b>-</b> 0				
メールアドレス	○○@pref.ya	amagata.jp							
授業概要	た優れた農業 での実習を通	業経営体の元	で実習を受 学んできたタ	けることは非常 知識や技術を	常に有意	意義な事で	である。本科ト	を営形態に応じます。 目では、優れた。 ける経営戦略の3	農業経営体
授業目的·目標		できた知識や 営戦略・改善					題を分析、虫	き理して解決を 🏻	図るととも
準備学習等	作業内容の	確認・予習を必	なず行い、後	夏習内容はその	の日の	うちに日説	に記録する	こと。	
	回 数					内容			
	1,2	ガイダンス	(n A :			> :	. b :	- No. 140.5	
	3~16	【4月期】経営	総合(ユニ	バーサルデザ	イン(U	ID) 計画作	≒成、顧客受.	入準備)	
	17~28	【4月期】経営	管理(作付	計画作成、受	注管理	1、加温ハ	ウス栽培の着	f色管理)	
	29~38	【4月期】生産	管理(オウ)	、ウ人工受粉、	防霜)				
	39~42	【5月期】経営	総合(顧客	受入準備、UI	)対応)				
	43~44	【5月期】経営	管理(受注	管理、取引業	者等と	の交渉・扌	「合せ同行)		
	45~46	【5月期】生産	管理(オウ)	ウビニール被	双覆、摘	i果、加温	ハウス栽培の	果実収穫)	
	47~50	【6~7月期】	圣営総合(ア	アンケート調査	<u>:</u> )				
	51~54	【6~7月期】	圣営管理(伊	#設店舗での	対面販	売、接客)			
  授業計画・内容	55~58	【6~7月期】	上産管理(オ	トウトウ収穫、	選別、出	出荷)			
	59~68	【9月期】経営	総合(アン	ケート調査)					
	69~78	【9月期】経営	管理(併設	店舗での対面	販売、	接客)			
	79~86	【9月期】生産	管理(ブドウ	ウ、モモ、西洋	ナシの	収穫、出	<b>苛。リンゴの</b> れ	<b></b> 手色管理)	
	87~100	【10月期】経常	営総合(アン	ケート調査)					
	101~106	【10月期】経常	営管理(受活	主·顧客管理、	パンフ	レット送付	·)		
	107~110	【10月期】生產						着色管理)	
	111~114	【11~12月期	】経営総合	(アンケートの	取りまと	とめ、改善	プラン作成)		
	115~116	【11~12月期	]経営管理	(受注・顧客管	· 理、資	金管理、	取引業者等	 との交渉・打合t	上同行)
	117~118	【11~12月期		(農作業用機	械メンラ	テナンス等	:)		
	119, 120	臨地実務実					<u>,                                      </u>		
キーワード		習、経営総合、			=法				
教科書·参考書	適宜、必要な	で資料を配布す	っる。						
評価方法・評価基準	報告書(40%	。)、自己点検	表(10%)、	臨地実務実習	指導者	音による評	価(25%)、執	段告会(25%)	
関連科目	等)、国際農		習、圃場実習					臨地実務実習〕	
履修要件	「臨地実務実	雲習Ⅱ」を通じ	て、経営管理	理等を身に付	けている	ること。			
備考	基づき、履修 担当教員が 長期の宿泊を	内容」について 前年度の11月 協議した上で、 を伴う実習とな 尊・指示に従っ	]に、担当巻 3回から118 るため、規!	対員が学生の 8回までの具体 則正しい生活	希望に原 体的なま	応じ、実習 実習計画を	見先をマッチン と決定する。	地実務実習等実 ・グ・決定し、実 「ること。	──── 施要領」に 習先・学生・

授業名	臨地実務実		今)		単位数	8単位	授業の方法	実習			
	On-site pra	ctical training	; ∭(Genera	al management			4年 通年				
受講対象	農林業経営	学部 農業経	営学科		科目区分		必修				
授業コード	A401		教員名	○小沢 亙	農業経営学科	斗の全専任教	<b></b>				
授業時間	日)の中から 後期15日	任意の計15日 12月の各2週	を選択]	週間の実習ウ/		教 室	臨地実務	実習地			
オフィスアワー	随時受付ける	る。ただし、事	前にメール	で連絡すること	0		1				
メールアドレス	○○@pref.ya	amagata.jp									
授業概要	した優れた農 営体での実	農業経営体の	元で実習を まで学んて	受けることは非ごきた知識や技	常に有意義な	事である。本	経営形態に応じ 科目では、優れ における経営戦	た農業経			
授業目的·目標		れまで学んできた知識や技術を総合化し、農業経営体における課題を分析、整理して解決を図るととも こ、新たな経営戦略・改善策をとりまとめ、発表することができる。									
準備学習等	作業内容の	確認・予習を必	公ず行い、名	复習内容はその	日のうちに日記	誌に記録する	ること。				
	回 数				内 容						
	1,2	ガイダンス									
	3~12	【4月期】経営	総合(販売	ラブース準備、	アンケート準備	<del>i</del> )					
	13~17	【4月期】ミニ	シクラメン経	E営管理(栽培	計画・施設の移	象働シミュレー	ーション作成)				
	18~22	【4月期】サン	パチェンス	生産管理(土語	吉め、挿し穂、泊	灌水、鉢上に	f)				
	23~32	【5月期】経営	総合(店舗	 捕販売(BtoCの	実践))						
	33~37	【5月期】ミニ:	シクラメン経	E営管理(労務	管理計画作成	)					
	38~42			生産管理(株質		<u>,                                      </u>					
	43~52			店舗販売(Bto							
	53~57			管理(次作作付							
授業計画・内容	58~62			ン生産管理(灌	水、鉢すりし)						
	63~72	【9月期】経営									
	73~77	【9月期】全船	経営管理	(次作経費、販	売計画立案)						
	78~82	【9月期】ミニ	シクラメン生	E産管理(葉摘	み、株整理、灌	[水)					
	83~96	【10月期】経代	営総合(次	作販売戦略構	築)						
	97~103	【10月期】サン	ノパチェン	ス経営管理(栽	培計画·施設の	の稼働シミュ	レーション作成)				
	104~110	【10月期】ミニ	シクラメン!	生産管理(株盤	理、出荷)						
	111~114	【11~12月期	]経営総合	(次作販売戦	略構築)						
	115~116	【11~12月期	]】サンパチ	エンス経営管理	里(労務管理計	 ·画作成)					
		【11~12月期	   ]サンパチ	ェンス生産管理	里(音苗用十進	備 苗管理	)				
	119, 120	臨地実務実			_ (14 µ4/14 44 4	., щ п-т.	*				
キーワード				·、立案·実行手	 法						
教科書·参考書	適宜、必要な	で資料を配布で	ける。								
評価方法・評価基準	報告書(40%		表(10%)、	臨地実務実習	指導者による記	平価(25%)、	報告会(25%)				
関連科目	理等)、国際		実習、圃場	·実習 I、圃場写			、臨地実務実習・花き」「畜産」、				
履修要件	「臨地実務実	図Ⅱ」を通じ	て、経営管	理等を身に付け	けていること。						
備考	要領」に基づ 実習先・学生 長期の宿泊	びき、履修前年 三・担当教員か	達の11月( ぶ協議した_ るため、規	に、担当教員か 上で、3回から1 則正しい生活に	ド学生の希望に 18回までの具	に応じ、実習 体的な実習	は「臨地実務実先をマッチング・計画を決定する。	決定し、			

授業名	臨地実務実習	習Ⅲ(経営総合)			単位数	8単位	授業の方法	 実習				
			ng ∭(Gener	al management)		- 1 1	4年 通年	741				
受講対象	農林業経営学	部 農業経営	学科		科目区分		必修					
授業コード	A401		教員名	○小沢 亙、鳥	農業経営学科の	全専任教員						
授業時間	から任意の計 後期15日	15日を選択] 12月の各2週間		引の実習ウィーク -ク(計30日)の中		教 室	臨地実務	実習地				
オフィスアワー	随時受付ける	。ただし、事前に	こメールで連	直絡すること。								
メールアドレス	○○@pref.ya	magata.jp	nagata.jp									
授業概要	た農業経営体	を携わりたい経営形態について深く学び、経営ビジョンを描くために、経営形態に応じマッチングした優別 首体の元で実習を受けることは非常に有意義な事である。本科目では、優れた農業経営体での実習を追 で学んできた知識や技術を総合化し、農業経営体における経営戦略の立案・実行に関する知識や技術 Eに学ぶ。										
授業目的・目標			きた知識や技術を総合化し、農業経営体における課題を分析、整理して解決を図るとともに、新7 善策をとりまとめ、発表することができる。									
準備学習等	作業内容の確	確認・予習を必す	"行い、復習	内容はその日の	うちに日誌に訂	己録すること。						
	回 数				内 容							
	1,2	ガイダンス										
	3~12	【4月期】経営総	合(国産飼	料の作付計画立	案、ホールクロ	ップサイレーシ	の給餌、母牛管	理、種付				
	13~17	【4月期】繁殖牛	-経営管理(	生産原価の計算	[、損益分岐点の	の計算、人員配	2置と労務管理)					
	18~22	【4月期】繁殖4	生産管理(	給餌、牛床清掃	、糞尿処理、母	牛管理)						
	23~32	【5月期】経営約	会(ホール)	クロップサイレー	 ジの給餌、母牛	 ・管理、種付け						
	33~37	【5月期】繁殖4	-経営管理(	生産原価の計算	<ul><li></li></ul>	の計算、人員面	 置と労務管理)					
	38~42	[5月期]繁殖牛生産管理(給餌、牛床清掃、糞尿処理、種つけ)										
	43~52	[6~7月期]経営総合(ホールクロップサイレージの給餌、母牛管理、種付け、受胎率調査)										
	53~57		(6~7月期】繁殖牛経営管理(生産原価の計算、損益分岐点の計算、人員配置と労務管理)									
	58~62			理(給餌、牛床清								
授業計画・内容	63~70	-		理•発育調査、力			ジ生産用機械の	 )比較検討)				
	71~74			飼料作物のコス								
	75~78			飼料作物管理、				<u></u>				
	79~88	【10月期】経営 と輸入飼料との		合(子牛管理・発育調査、大規模ホールクロップサイレージ生産時の生産費用試算								
	89~93	【10月期】肥育	牛経営管理	(配合飼料のコス	ト計算、生産原	『価の計算、損	益分岐点の計算	<b>)</b>				
	94~98	【10月期】肥育 稲収穫・ラッピ、		(配合飼料調整、	、給餌、牛床清	掃、糞尿処理、	ホールクロップ	サイレージ				
	99~108	【11~12月期】	経営総合(オ	トールクロップサー	イレージ利用に	よる経営試算。	と戦略構築)					
	109~113	【11~12月期】 務処理)	肥育牛経営	管理(肉質と販売	記単価の試算、	生産原価の計	算、損益分岐点	の計算、税				
	114~118	【11~12月期】 稲収穫・ラッピ、		管理(給餌、牛肉	F.清掃、糞尿処:	理、血液検査、	ホールクロップ・	サイレージ				
	119、120	臨地実務実習	先への報告	会								
キーワード	臨地実務実習	習、経営総合、紹	区営戦略、立	案・実行手法								
教科書•参考書	適宜、必要な	資料を配布する	00									
評価方法・評価基準	報告書(40%)	)、自己点検表(	(10%)、臨地	也実務実習指導	者による評価(2	5%)、報告会	(25%)					
関連科目	国際農業・森	<ul><li>組織マネジメント論、税制・簿記論、簿記各論、臨地実務実習Ⅰ(生産管理等)、臨地実務実習Ⅱ(経営管理等)、国際農業・森林業実習、圃場実習Ⅰ、圃場実習Ⅱ「稲作」「果樹」「野菜・花さ」「畜産」、農業経済学、国際農業論、農業経営分析・計画</li></ul>										
履修要件	「臨地実務実	習Ⅱ」を通じて、	経営管理等	穿を身に付けてV	ること。							
備考	き、履修前年」 が協議した上 長期の宿泊を	度の11月に、担 で、3回から118	当教員が学 回までの具体 ため、規則コ	デルとして示した 生の希望に応じ 本的な実習計画 Eしい生活に心な うこと。	、実習先をマッ を決定する。	チング・決定し	、実習先・学生・					

# 近隣大学の農学系学部及び農林業系専門職大学の志願状況

H29 後期 推薦 私費 若干:	5 1 图	7 1.6 9 4.8 1 2.2			32	20
	5 1 图		17			32
	ž	1 2.2		2.8	6	6
前期			11	2.2	5	5
	n 1	1 -	1	_	1	0
	י ויי	8 1.6	45	1.5	33	32
	5 1	6 3.2	5	1.0	4	4
┃	5	4 0.8	4	0.8	4	4
┃                  私費 若干:	呂	4 -	3	_	1	1
	0 4	8 1.6	45	1.5	35	34
	5 1	1 2.2	1	0.2	1	1
R1   <u>後</u>   推薦	5 1	0 2.0		2.0	5	5
私費   若干:		1 -	1	_	0	0
	0 3	1 1.0	30	1.0	30	26
		2 6.4			8	7
R2   <u>後初                                  </u>	5	7 1.4			5	5
		2 -	2		2	2
1 1 1 <del>- 1 - 1</del>		3 1.2			31	26
後期	_	9 4.8			6	5
R3   推薦		4 3.5			6	6
総合工	4	5 1.3			4	4
┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃	- 1	0 -	ő		0	0
		5 2.0		1.9	34	30
		4 6.0			4 7	3 7
1,2,3,3		1 2.8		2.8		
総合工	4	4 1.0		1.0	2	2
│		1 -	1	-	1	1
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		6 2.3			22	21
H29   後期	_	5 5.8			6	6
		2 3.0		3.0	5	5
<u>私費</u>   若干:	_	1 -	1		I	1
		4 1.7		1.7	22	21
H30 後期		8 7.6			5	3
		2 2.4			5	5
<u>私費</u>   若干:		1 -	1		0	0
	0 4				23	18
R1   後期   R1   機	_	7 5.4			9	8
		0 2.0			5	5
私費   若干:		0 -	0		0	0
		5 2.3			23	23
R2   後期   R2   1		6 9.2			5	5
		3 2.6			5	5
私費   若干:		0 –	0		0	0
		8 1.6			20	19
後期		1 5.3			1	1
R3   推薦		3 2.6			6	6
総合工	3	7 2.3			3	3
私費   若干:		0 –	0		0	0
	8 4	0 2.2	37	2.1	25	25
後期	4 3	0 7.5	14	3.5	4	3
R4   推薦	5 1	0 2.0			5	5
総合Ⅱ		3 1.0			2	2
私費   若干:		0 -	0		0	0
		0 1.9			31	31
農村地域デザイン学コース 2名甘田	7 4				8	8
食産業システム学コース H29 推薦	6	4 0.7		0.7	4	4
私費   若干:	_	1 -	1		0	0

大学名	学部名	学科名	入学 年度	日程 等	募集 人員	志願 者数	志願 倍率	受験 者数	受験 倍率	合格 者数	入学 者数				
				前期	27	36	1.3	35	1.3	29	29				
			H30	後期	7	19	2.7	7	1.0	6	5				
			1100	推薦	6	13	2.2	13	2.2	6	6				
				私費	若干名	1		1	_	1	1				
				前期	27	32	1.2	32	1.2	32	32				
			R1	後期	7	17	2.4	3	0.4	4	4				
				推薦	6	7	1.2	7	1.2	6	6				
				私費	若干名	1		1	-	0	0				
				前期	29	43	1.5	42	1.4	33	31				
			R2	後期 推薦	5 6	29 7	5.8 1.2	10 7	2.0 1.2	6	4 6				
				私費	若干名	1	- 1.2	1	1.2	0	0				
				前期	26	39	1.5	36	1.4	33	32				
				後期	4	13	3.3	5	1.3	4	3				
			R3	推薦	6	9	1.5	9	1.5	6	6				
				総合Ⅱ	4	1	0.3	1	0.3	1	1				
					若干名	0	_	0	_	0	0				
				前期	26	48	1.8	43	1.7	30	28				
				後期	4	21	5.3	10	2.5	4	4				
			R4	推薦	6	11	1.8	11	1.8	7	7				
				総合 Ⅱ	4	5	1.3	5	1.3	4	4				
		,			若干名	0	-	0	_	0	0				
秋田県立大学	生物資源科学部	応用生物科学科		前期	20	117	5.9	103	5.2	27	20				
			H29	後期	8	142	17.8	44	5.5	14	8				
				推薦	12	29	2.4	29	2.4	12	12				
			1100	前期	20	89	4.5	73	3.7	29	22				
			H30	後期	8	168	21.0	49	6.1	11	6				
				推薦	12 20	19 70	1.6 3.5	19 59	1.6 3.0	12 27	12 21				
			R1	前期 後期	8	115	14.4	32	4.0	11	7				
			111	推薦	12	25	2.1	25	2.1	15	15				
				前期	20	105	5.3	93	4.7	24	18				
			R2	後期	8	128	16.0	34	4.3	16	13				
					推薦	12	28	2.3	28	2.3	13	13			
										前期	20	52	2.6	46	2.3
			R3	R3	R3	後期	8	137	17.1	29	3.6	10	7		
						КЭ	総合	2	6	3.0	6	3.0	2	2	
				学校推薦	10	16	1.6	16		12	12				
				前期	20	154	7.7	141	7.1	29	23				
			R4	後期	8	202	25.3	53	6.6	12	7				
				総合	2	4	2.0	4	2.0	3	3				
		+ + + + + + 1 + 1 + 1 + 1		学校推薦	10	13	1.3	13		8	8				
		生物生産科学科	Поп	前期	20	95	4.8	89	4.5	28	26				
			H29	後期 推薦	8 12	91 23	11.4 1.9	38 23	4.8 1.9	8 13	8 13				
				前期	20	103	5.2	94	4.7	26	17				
			H30	後期	8	85	10.6	32	4.0	20	17				
				推薦	12	12	1.0	12	1.0	12	12				
				前期	20	53	2.7	47	2.4	27	25				
			R1	後期	8	108	13.5	34	4.3	8	6				
				推薦	12	16	1.3	16	1.3	10	10				
				前期	20	120	6.0	108	5.4	25	20				
			R2	後期	8	119	14.9	39	4.9	14	12				
				推薦	12	14	1.2	14	1.2	11	11				
				前期	20	43	2.2	35	1.8	26	22				
			R3	後期	8	109	13.6	32	4.0	15	11				
				総合	2	4	2.0	4	2.0	2	2				
				学校推薦	10	7	0.7	7	0.7	7	7				
				前期 後期	20 8	56 102	2.8 12.8	49 33	2.5 4.1	30 14	22 12				
			R4	総合	2	5	2.5	აა 5	4.1 2.5	2					
				花 古   学校推薦	10	7	0.7		0.7	7	2 7				
I	I			丁以班馬	10	/	0.7	/	0.7	/	/				

大学名	学部名	学科名	入学 年度	日程 等	募集 人員	志願 者数	志願 倍率	受験 者数	受験 倍率	合格 者数	入学 者数
		生物環境科学科		前期	15	105	7.0	96	6.4	22	17
			H29	後期	6	113	18.8	43	7.2	9	6
				推薦	9	11	1.2	11	1.2	8	8
				前期	15	50	3.3	45	3.0	22	19
			H30	後期	6	88	14.7	28	4.7	9	9
				推薦	9	10	1.1	10	1.1	9	9
			D.1	前期	15	56	3.7	50	3.3	23	20
			R1	後期	6	81	13.5	26	4.3	8	7
				推薦	9	7	0.8	7	0.8	6	6
			R2	前期 後期	15	92 99	6.1	80	5.3 4.8	19	16
			RZ	推薦	6 9	16	16.5 1.8	29 16	1.8	7 11	6 11
				前期	15	47	3.1	42	2.8	19	17
				後期	6	92	15.3	24	4.0	7	4
			R3	総合	2	7	3.5	7	3.5	3	3
				学校推薦	7	10	1.4	10	1.4	8	8
				前期	15	65	4.3	60	4.0	20	19
			5.4	後期	6	86	14.3	27	4.5	6	5
			R4	総合	2	6	3.0	6	3.0	4	4
				学校推薦	7	6	0.9	6	0.9	5	5
		アグリビジネス学科		前期	16	48	3.0	46	2.9	26	19
			H29	後期	6	60	10.0	18	3.0	12	8
				推薦	18	17	0.9	17	0.9	15	15
				前期	16	37	2.3	34	2.1	22	17
			H30	後期	6	44	7.3	16	2.7	6	6
				推薦	18	25	1.4	25	1.4	21	21
				前期	16	116	7.3	110	6.9	21	17
			R1	後期	6	83	13.8	42	7.0	8	4
				推薦	18	26	1.4	26	1.4	20	20
				前期	16	73	4.6	63	3.9	23	17
			R2	後期	6	63	10.5	17	2.8	6	6
				推薦	18	28	1.6	28	1.6	20	20
				前期	16	31	1.9	27	1.7	23	14
			R3	後期	6	29	4.8	6	1.0	12	9
				総合	2	8	4.0	8	4.0	4	4
				学校推薦	16	14	0.9		0.9		14
				前期	16	57 57	3.6 9.5	46	2.9 3.7	21	17
			R4	後期総合	6	6	3.0	22 6	3.7	6 5	5 5
				学校推薦	16	23	1.4	22	1.4	18	18
山形大学	農学部	食料生命環境学科		前期	95	199	2.1	196	2.1	116	106
ロルハナ	ᄺᆇ그ᄞ			後期	30	151	5.0	151	5.0	41	18
			H29	推薦	40	84	2.1	84	2.1	40	40
					若干名	13		13		6	1
				前期	95	245	2.6	231	2.4	114	100
				後期	25	325	13.0	325	13.0	41	21
			H30	AO	5	24	4.8	10	2.0	5	5
				推薦	40	64	1.6	64	1.6	42	42
				私費	若干名	26	_	26		8	2
				前期	95	183	1.9	177	1.9	114	103
				後期	25	165	6.6	165	6.6	37	14
			R1	AO	5	25	5.0	9	1.8	6	6
				推薦	40	68	1.7	68	1.7	42	42
					若干名	25	-	25	_	9	3
				前期	95	156	1.6	153	1.6	126	109
				後期	25	78	3.1	78	3.1	30	16
			R2	A0	5	15	3.0	10	2.0	5	5
				推薦	40	63	1.6	63	1.6	40	40
1				特別	若干名	22	-	22	_	6	1

大学名	学部名	学科名	入学 年度	日程等	募集 人員	志願 者数	志願 倍率	受験 者数	受験 倍率	合格 者数	入学 者数
				前期	95	309	3.3	288	3.0	118	107
				後期	25	346	13.8	346	13.8	33	10
			R3	総合	5	9	1.8	9	1.8	5	5
				推薦	40	49	1.2	49	1.2	43	43
				特別	若干名	19		19	_	5	2
				前期	95	185	1.9	180	1.9	123	114
				後期	25	183	7.3	183	7.3	26	5
			R4	総合	5	18	3.6	100	2.0	5	5
			117	推薦	40	79	2.0	79	2.0	41	41
				特別	若干名	11		11		6	2
東北大学	農学部			前期	114	311	2.7	290	2.5	116	116
朱北八子	辰 <b>于</b> 叩		H29	AO	36		3.4		2.5	38	
			пи			122	3.4	93	2.0		38
				特別	若干名	2	_	1		0	0
			1100	前期	112	329	2.9	307	2.7	114	112
			H30	AO	38	132	3.5	104	2.7	39	39
				特別	若干名	5	-	5	-	2	1
				前期	112	316	2.8	288	2.6	114	112
			R1	AOI	20	74	3.7	74	3.7	20	20
				AOII	18	64	3.6	28	1.6	19	19
				特別	若干名	10	_	6	-	2	0
				前期	112	273	2.4	253	2.3	115	115
			R2	AO II	20	80	4.0	80	4.0	20	20
			1\Z	AOⅢ	18	64	3.6	30	1.7	19	19
				特別	若干名	3	_	3	ı	2	1
				前期	105	295	2.8	269	2.6	111	107
			Da	AO II	23	78	3.4	40	1.7	23	23
			R3	ΑOШ	22	44	2.0	33	1.5	18	18
					若干名	3	_	0	-	0	0
				前期	105	261	2.5	232	2.2	112	112
			5.4	AO II	23	58	2.5	40	1.7	23	23
			R4	AOII	22	43	2.0	32	1.5	22	22
				特別	若干名	4	_	3	_	2	1
福島大学	食農学類			前期	60	190	3.2	179	3.0	67	61
	及及了块		R1	後期	20	247	12.4	73	3.7	30	26
				AO	20	58	2.9	58	2.9	20	20
				前期	60	99		94	1.6		62
			R2	後期	20	152	7.6	22	1.1	20	16
			. \_	AO	20	50	2.5	49	2.5	20	20
				前期	60	133	2.2	122	2.0	70	65
			R3	後期	20	197	9.9	58	2.0	23	17
			113	IS 别 AO	20	41	2.1	41	2.9	23	22
				前期	60	156	2.1	146	2.1	67	62
			D4								
			R4	後期	20	207	10.4	61	3.1	26	23
	<b>上本理性经常学</b> 如	<b>化共通体包织型型</b>		総合	20	34	1.7	34	1.7	21	21
	土性琼現稅呂字部	生産環境経営学科	DA	一般	12	48	4.0	45	3.8	18	15
林環境専門			R2	推薦	12	18	1.5	18	1.5	11	11
職大学					若干名	1	-	1	-	1	1
			<b>5</b> 6	一般	12	47	3.9	40	3.3	18	16
			R3	推薦	12	24	2.0	24	2.0	12	12
					若干名	1	-	1	_	0	0
				一般	12	34	2.8	31	2.6	15	14
			R4	推薦	12	20	1.7	20	1.7	12	12
i				特別	若干名	4	_	4	_	0	0

出典:各大学HP

<sup>※</sup>合格者数には、追加合格者数を含む ※東北大学の受験者数は第2次選考受験者

東北農林専門職大学(仮称)設置に関するアンケート調査(高校生)

報告書

令和5年3月

一般財団法人 日本開発構想研究所

# 目 次

<アンケート調査概要>2
<アンケート集計結果(クロス集計)の概要>
問 10 東北農林専門職大学(仮称)への進学意向×問 11 進学希望学科4
問 5 「農林学関係」「経営学関係」「食物学・栄養学関係」×問 4 「大学・専門職大学
進学」×問8 本学を「受験したい」×問10「進学したい」5
問5「経済学関係」「工学関係(情報除く)」「理学関係(生物、化学、地学、物理
等)」「情報学関係」×問4「大学・専門職大学進学」×問8 本学を「受験し
たい」×問 10「進学したい」6
問5「農林学関係」「経営学関係」「食物学・栄養学関係」×問4「大学・専門職大
学進学」×問8 本学を「受験先として検討したい」×問10「進学したい」×
問6 進学先決定時重視項目×問9 受験理由8
<アンケート調査集計表>12
- <アンケート調査票>23

<アンケート調査概要>

## <アンケート調査概要>

#### 1. アンケート実施の目的

本調査は、「東北農林専門職大学(仮称)設置に関するアンケート調査」として高校 生に対して東北農林専門職大学(仮称)への進学希望等について尋ね、学生の確保の見 通しを測ることを目的とする。

#### 2. 調査対象

- ・東北6県に所在する高校に在籍する高校2年生(初回)
- ・東北6県(初回未実施校)、北海道、新潟県、長野県、栃木県、茨城県、群馬県に所在 する高校に在籍する高校2年生(追加実施)

#### 3. 調査実施

(初回) 令和4年6~9月、(追加実施) 令和4年12月~令和5年2月

#### 4. 調査方法

一般財団法人日本開発構想研究所がアンケート調査票を各高等学校へ郵送し、調査票の回収及び集計を行った。

#### 5. 回収状況

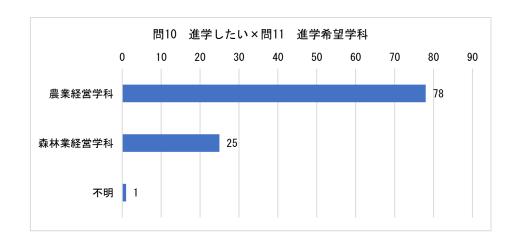
依頼数:127校 回答数:105校(回収率82.7%)10,629名(初回)

依頼数:411校 回答数:228校(回収率55.5%)19,475名(追加含む合計)

<アンケート集計結果(クロス集計)の概要>

#### クロス集計 問 10 東北農林専門職大学(仮称)への進学意向×問 11 進学希望学科

問 10 において東北農林専門職大学(仮称)に「進学したい」と回答した生徒(104人)のうち、問 11 で農業経営学科への進学を希望した回答者は 78人、森林業経営学科への進学を希望した回答者は 25人となっており、各学科の入学定員(農業経営学科 32名、森林業経営学科 8名)を超える結果となった。



問 10 進学意向×問 11 進学希望学科

	上段:人 下段:%	問 11 進学希望学科						
		合計	農業経営 学科	森林業 経営学科	不明			
	全体	343	257	82	4			
		100.0	74.9	23.9	1.2			
   問 10 進学意向	進学したい	104	78	25	1			
	,	100.0	75.0	24.0	1.0			
	   進学先の候補として検討したい	239	179	57	3			
		100.0	74.9	23.8	1.3			

#### ■ クロス集計

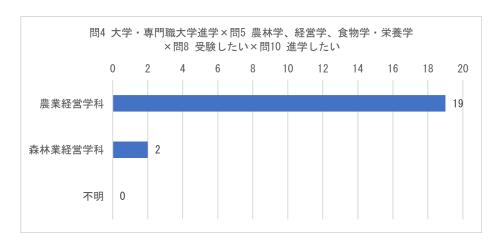
問5「1 農林学関係」「3 経営学関係」「15 食物学・栄養学関係」に関心あり

×問4「1 大学・専門職大学進学」を希望

×問8 本学を「1 受験したい」

×問10 本学に「1 進学したい」

①問5で「1 農林学関係」「3 経営学関係」「15 食物学・栄養学関係」に興味があり、②問4で「1 大学・専門職大学進学」を希望し、③問8で本専門職大学を「1 受験したい」との意向を持ち、④問10で本専門職大学に合格したら「1 進学したい」者、の全ての条件に当てはまる者が何名いるかクロス集計を行ったところ、農業経営学科で19名、森林業経営学科で2名が該当した。これらの回答者の進学希望分野を勘案すると、上記回答者は本学に強い進学意向を有すると考えられる。



問4 卒業後の進路×問5 進学希望分野×問8 受験意向×問10 進学意向×問11 進学希望学科

	上段:人 下段:%		問 11 進	学希望学科	
問 4-1 大学・専門 問 5-1 農林学、3 問 8-1 受験したい	経営学、15 食物学・栄養学	合計	農業経営学科	森林業経営学科	不明
	全体	24	22	2	0
		100.0	91.7	8.3	0.0
   問 10 進学意向	進学したい	21	19	2	0
		100.0	90.5	9.5	0.0
	進学先の候補として検討したい	3	3	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0

#### ■ クロス集計

問5「6 経済学関係」「11 工学関係(情報除く)」「12 理学関係(生物、化学、 地学、物理等)」「13 情報学関係」に関心あり

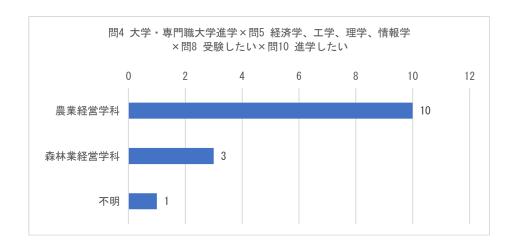
×問4「1 大学・専門職大学進学」を希望

×問8 本学を「1 受験したい」

×問 10 本学に「1 進学したい」

①問5で農林業とも関係の深い「6 経済学関係」、スマート農林業で関係のある「11 工学関係(情報除く)」、農林業と関係の深い「12 理学関係(生物、化学、地学、物理等)」、森林情報学などで関係の深い「13 情報学関係」に興味があり、②問4で「1 大学・専門職大学進学」を希望し、③問8で本専門職大学を「1 受験したい」との意向を持ち、④問10で本専門職大学に合格したら「1 進学したい」者、の全ての条件に当てはまる者が何名いるかクロス集計を行ったところ、農業経営学科で10名、森林業経営学科で3名が該当した。これらの回答者の進学希望分野は本学の教育内容と関係が深いことを勘案すると、上記回答者は本学への入学を強く期待できる。

また、上記 13 名のうち、問 5 で「1 農林学関係」「3 経営学関係」「15 食物学・栄養学関係」のいずれかを選択した者を除いた 10 名 (農業経営学科 7 名、森林業経営学科 3 名) と 5 頁のクロス集計結果の人数を合わせると、農業経営学科で 26 名、森林業経営学科で 5 名が入学意向を示していることとなる。



問 4 卒業後の進路×問 5 進学希望分野×問 8 受験意向×問 10 進学意向×問 11 進学希望学科

	上段:人 下段:%	問 11 進学希望学科						
問 4-1 大学・専門職 問 5-6 経済学、11 エ 問 8-1 受験したい	大学進学 学、12 理学、13 情報学	合計	農業経営学科	森林業経営学科	不明			
	全体	20	14	5	1			
		100.0	70.0	25.0	5.0			
   問 10 進学意向	進学したい	14	10	3	1			
	12,010	100.0	71.4	21.4	7.1			
	   進学先の候補として検討したい	6	4	2	0			
		100.0	66.7	33.3	0.0			

#### ■ クロス集計

問5「1 農林学関係」「3 経営学関係」「15 食物学・栄養学関係」に関心あり

- ×問4「1 大学・専門職大学進学」を希望
- ×問8 本学を「2 受験先として検討したい」
- ×問 10 本学に「1 進学したい」
- ×問6 進学先決定時重視項目
- ×問9 受験理由

①問5で「1 農林学関係」「3 経営学関係」「15 食物学・栄養学関係」に興味があり、②問4で「1 大学・専門職大学進学」を希望し、③問8で本専門職大学を「受験先として検討したい」との意向を持ち、④問10で本専門職大学に合格したら「1 進学したい」者、の全ての条件に当てはまる者のうち、

- ・進学先決定時重視項目(問6)において「9 学費(入学金・授業料)の金額」「15 国公立か私立か」のいずれかを選択し、かつ受験理由(問9)について「6 授業料が安いから」「9 公立大学だから」のいずれかを選択した者
- ・進学先決定時重視項目(問6)において「10 学校の所在地」を選択し、かつ受験理由(問9)について「3 自宅から通学圏内にある大学だから」を選択した者
- ・受験理由(問9)について「7 専門職大学だから」を選択した者は、農業経営学科で9名、森林業経営学科で4名該当した(次ページ表)。

この13名は「受験先として検討したい」と回答しているものの、本専門職大学は公立の専門職大学であり、進学先決定時重視項目(問6)及び受験理由(問9)の回答状況からすると、本専門職大学への受験意向は高いと考えられ、また、合格したら進学したいと回答していることから、本専門職大学への入学を強く期待できる。

この13名と6頁の2つのクロス集計の合計結果の人数を合わせると、農業経営学科で35名、森林業経営学科で9名が入学意向を示していることとなる。以上の調査結果からすると、本学開設にあたっては、両学科の入学定員(農業経営学科32名、森林業経営学科8名)を充足するものと推定される(10頁表)。

問 4 卒業後の進路×問 5 進学希望分野×問 8 受験意向×問 10 進学意向×問 11 進学希望学科 ×問 6 進学先決定時重視事項×問 9 受験理由

問4	問 5	問8	問 10	問 6	問 9	該当数
大学 · 専門職 大学進	「農林学関 係」 「経営学関	受験先 として 検討し	進学したい	「学費(入学金・授業料)の金額」 「国公立か私立か」	「授業料が安いから」 「公立大学だから」 のいずれかを選択	9 (うち農 6、 森 3)※
学	係」	たい		のいずれかを選択	77 7 700 22210	7,5K 07 7.4K
	「食物学・栄 養学関係」 のいずれかを			「学校の所在地」を選択	「自宅から通学圏内にある 大学だから」を選択	2 (うち農 1、 森 1)
	選択			-	「専門職大学だから」を選 択	2 (うち農 2、 森 0)
					合計	13 (うち農 9、 森 4)

※「農」農業経営学科、「森」森林業経営学科

## 【5頁~9頁の該当数合計】

問4	問 5	問8	問 10	問 6	問 9	該当数
大学・ 専門職 大学進 学	「農林学関 係」 「経営学関 係」 「食物学・栄 養学関係」 のいずれかを 選択	受験したい	進学したい	_		21 (うち農 19、 森 2) ※1
大学· 専門職 大学進 学	「経済学関係」 「工学関係」 (計算解除」 (計算を表現である。 「理学関係」(生まれる。 「は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	受験したい	進学したい	_		10 (うち農 7、 森 3) ※2
大学· 専門職 大学進 学	「農林学関係」 「経営学関係」 「食物学・栄養学関係」 のいずれかを 選択	受験先とし対したい	進学したい	「学費(入学金・授業料)の金額」 「国公立か私立か」のいずれかを選択 「学校の所在地」 を選択	「授業料が安いから」 「公立大学だから」 のいずれかを選択 「自宅から通学圏内にある 大学だから」を選択 「専門職大学だから」を選 択	9 (うち農 6、 森 3) 2 (うち農 1、 森 1) 2 (うち農 2、 森 0)
		ı			合計	44 (うち農 35、 森 9)

<sup>※1 「</sup>農」農業経営学科、「森」森林業経営学科

<sup>※2</sup> 問5で「農林学関係」「経営学関係」「食物学・栄養学関係」のいずれかを選択した者を除く。

〈アンケート調査集計表〉

#### 問1 性別

あなたの性別についておたずねします。次の中から<u>1つだけ</u>選んでください。

問 1 性別 (SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	男性	9676	49.7
2	女性	9517	48.9
3	その他	273	1.4
	不明	9	0.0
	合計	19475	100.0

#### 問2 居住地

あなたがお住まいの都道府県についておたずねします。次の中から<u>1つだけ</u>選んでください。

問 2 居住地 (SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	山形県内(村山地域)	3520	18.1
2	山形県内(最上地域)	564	2.9
3	山形県内 (置賜地域)	1264	6.5
4	山形県内(庄内地域)	1805	9.3
5	青森県	660	3.4
6	岩手県	1238	6.4
7	宮城県	1632	8.4
8	秋田県	1555	8.0
9	福島県	1110	5.7
10	その他	6113	31.4
	不明	14	0.1
	合計	19475	100.0

「その他」の主な内訳は「栃木県」1,310 件、「北海道」1,247 件、「新潟県」822 件、「群馬県」786 件、「茨城県」678 件、「長野県」677 件。

#### 問3 在籍学科

あなたが在籍する高校の学科についておたずねします。次の中から在籍している学科を<u>1つだけ</u>選んでください。

問3 在籍学科

(SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	普通科・理系(理数科等を含む)	7725	39.7
2	普通科・文系	3570	18.3
3	普通科・探究コース	273	1.4
4	普通科・文理選択無し	1723	8.8
5	探究科	300	1.5
6	農業科	2604	13.4
7	林業科	144	0.7
8	工業科	1108	5.7
9	商業科	630	3.2
10	総合学科	606	3.1
11	その他	765	3.9
	不明	27	0.1
	合計	19475	100.0

# 【高校卒業後のことについてお聞きします】

#### 問4 卒業後の進路

あなたの進路についておたずねします。あなたは高校卒業後どのような進路を希望していますか。次の中からもっとも希望に近い進路を**1つだけ**選んでください。

問4 卒業後の進路

(SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	大学・専門職大学進学	12090	62.1
2	短期大学・専門職短期大学進学	753	3.9
3	専門学校進学	2849	14.6
4	就職	3523	18.1
5	その他	244	1.3
	不明	16	0.1
	合計	19475	100.0

#### 問 5 進学希望分野

あなたが進学したいと考えている分野は何ですか。次の中から<u>関心のある分野を全て</u> 選んでください。

(問4で「大学・専門職大学進学」「短期大学・専門職短期大学進学」「専門学校進学」を選択した 15,692人が回答)

問 5 進学希望分野(複数回答)

(MA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	農林学関係	1143	7.3
2	文学関係(史学・哲学含む)	1190	7.6
3	経営学関係	1446	9.2
4	国際関係(外国語含む)	1199	7.6
5	法学・政治学関係	942	6.0
6	経済学関係	1601	10.2
7	社会学・社会福祉学関係	867	5.5
8	心理学関係	1558	9.9
9	教育学・保育学関係	2205	14.1
10	美術学・音楽学関係	1233	7.9
11	工学関係(情報除く)	2584	16.5
12	理学関係(生物、化学、地学、物理等)	2748	17.5
13	情報学関係	2104	13.4
14	家政学関係(被服・住居)	300	1.9
15	食物学・栄養学関係	1409	9.0
16	医学・歯学・薬学関係	2762	17.6
17	看護・リハビリテーション学関係	3474	22.1
18	体育学・スポーツ関係	1387	8.8
19	その他	1116	7.1
	不明	66	0.4
	合計	15692	100.0

#### 問6 進学先決定時の重視項目

あなたが進学先を決める場合に重視するものを、次の中から優先順位第3位まで選んでください。

(問4で「大学・専門職大学進学」「短期大学・専門職短期大学進学」「専門学校進学」を選択した15,692人が回答)

問6 進学先決定時の重視項目(第1位)

(SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	学部・学科の専攻分野	6263	39.9
2	教員の充実度	139	0.9
3	希望する資格が取れる	2805	17.9
4	就職の実績が良い	1181	7.5
5	就職支援の取組が充実している	163	1.0
6	地元地域との連携・交流が盛ん	17	0.1
7	施設が充実している	282	1.8
8	クラブ活動等が充実している	111	0.7
9	学費(入学金・授業料)の金額	831	5.3
10	学校の所在地	732	4.7
11	入試選抜方法や難易度が自分にあう	1214	7.7
12	現役大学生や卒業生等の意見	50	0.3
13	担任や進路指導教員の意見	12	0.1
14	家族(親や兄弟)の意見	104	0.7
15	国公立か私立か	1553	9.9
16	特色ある教育研究	73	0.5
17	その他	74	0.5
	不明	88	0.6
	合計	15692	100.0

No.	カテゴリ	件数	%
1	学部・学科の専攻分野	1882	12.0
2	教員の充実度	491	3.1
3	希望する資格が取れる	2246	14.3
4	就職の実績が良い	1736	11.1
5	就職支援の取組が充実している	387	2.5
6	地元地域との連携・交流が盛ん	78	0.5
7	施設が充実している	908	5.8
8	クラブ活動等が充実している	141	0.9
9	学費(入学金・授業料)の金額	1777	11.3
10	学校の所在地	1866	11.9
11	入試選抜方法や難易度が自分にあう	1823	11.6
12	現役大学生や卒業生等の意見	186	1.2
13	担任や進路指導教員の意見	64	0.4
14	家族(親や兄弟)の意見	371	2.4
15	国公立か私立か	1462	9.3
16	特色ある教育研究	129	0.8
17	その他	40	0.3
	不明	105	0.7
	合計	15692	100.0

問 6 進学先決定時の重視項目 (第 3 位) (SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	学部・学科の専攻分野	1125	7.2
2	教員の充実度	357	2.3
3	希望する資格が取れる	1324	8.4
4	就職の実績が良い	1411	9.0
5	就職支援の取組が充実している	390	2.5
6	地元地域との連携・交流が盛ん	107	0.7
7	施設が充実している	1355	8.6
8	クラブ活動等が充実している	217	1.4
9	学費(入学金・授業料)の金額	1967	12.5
10	学校の所在地	2467	15.7
11	入試選抜方法や難易度が自分にあう	1856	11.8
12	現役大学生や卒業生等の意見	304	1.9
13	担任や進路指導教員の意見	132	0.8
14	家族(親や兄弟)の意見	773	4.9
15	国公立か私立か	1468	9.4
16	特色ある教育研究	232	1.5
17	その他	62	0.4
	不明	145	0.9
	合計	15692	100.0

# 【東北農林専門職大学(仮称)についてお聞きします。お配りしたリーフレットをお読みになった上でお答えください。】

#### 問7 興味・関心のある特色

東北農林専門職大学(仮称)には以下のような特色があります。あなたはどの特色に 魅力を感じますか。次の中から関心のあるものを全て選んでください。

(問4で「大学・専門職大学進学」「短期大学・専門職短期大学進学」「専門学校進学」を選択した 15,692人が回答)

#### 問7 興味・関心のある特色(複数回答)

(MA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	経営感覚と現場感覚に優れ、理論に裏打ちされた実践力を備えた人材の育成	4696	29.9
2	戦略的な経営に取り組める農林業人材の育成	2664	17.0
3	農林業を核とした関連産業の振興や価値の創出に資する人材の育成	2066	13.2
4	最前線の需要をつかみ、新たな市場を開拓することができる人材の育成	2550	16.3
5	高度で先進的な生産技術を修得した人材の育成	2476	15.8
6	山形県をはじめ東北6県の多様な農業又は森林業産地での実習	3559	22.7
7	海外の先進的な取組等を学ぶ海外実習	4051	25.8
8	新たな事業展開へつなげていくための他分野の知識を修得することができる	1884	12.0
9	フィールドワークなどを通じて地域課題の解決方策を学ぶことができる	2255	14.4
10	農林業に必要な資格が取得できる	3414	21.8
11	少人数教育による学生一人ひとりが持つ能力を最大限に引き出す教育	3677	23.4
12	キャリアサポートセンターによる充実したキャリア形成支援	1242	7.9
13	その他	200	1.3
	不明	568	3.6
	合計	15692	100.0

#### 問8 東北農林専門職大学(仮称)の受験意向

あなたは東北農林専門職大学(仮称)を受験したいと思いますか。次の中から1つ だけ選んでください。

(問4で「大学・専門職大学進学」「短期大学・専門職短期大学進学」「専門学校進学」を選択した 15,692 人が回答)

問8 受験意向

(SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	受験したい	84	0.5
2	受験先として検討したい	357	2.3
3	わからない	2787	17.8
4	受験先として考えていない	12303	78.4
	不明	161	1.0
	合計	15692	100.0

## 問9 東北農林専門職大学(仮称)の受験理由

あなたが東北農林専門職大学(仮称)を受験したい、あるいは受験先として検討したい理由は何ですか。次の中から3つまで選んでください。

(問8で東北農林専門職大学(仮称)を「受験したい」「受験先として検討したい」と回答した441人が回答)

問9 受験理由(複数回答)

(MA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	興味のある学問分野だから	273	61.9
2	農林業分野で必要な知識・技術が学べるから	213	48.3
3	自宅から通学圏内にある大学だから	76	17.2
4	学べる内容やカリキュラムが良さそうだから	146	33.1
5	進路指導教諭から勧められたから	21	4.8
6	授業料が安いから	43	9.8
7	専門職大学だから	47	10.7
8	校舎や施設が充実していそうだから	120	27.2
9	公立大学だから	119	27.0
10	優れた教員が多そうだから	27	6.1
11	就職に有利そうだから	85	19.3
12	親の農林業経営を継承するため	35	7.9
13	その他	5	1.1
	不明	8	1.8
	合計	441	100.0

## 問 10 東北農林専門職大学(仮称)への進学意向

あなたは東北農林専門職大学(仮称)に合格したら、進学したいと思いますか。次の中から<u>1つだけ</u>選んでください。

(問8で東北農林専門職大学(仮称)を「受験したい」「受験先として検討したい」と回答した441人が回答)

問 10 進学意向

(SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	進学したい	104	23.6
2	進学先の候補として検討したい	239	54.2
3	現時点ではまだわからない	78	17.7
4	進学を希望しない	12	2.7
	不明	8	1.8
	合計	441	100.0

#### 問 11 進学希望学科

あなたは東北農林専門職大学(仮称)の2学科のうち、どちらの学科に進学したいと 考えますか。次の中から<u>1つだけ</u>選んでください。

(問 10 で東北農林専門職大学(仮称)に「進学したい」「進学先の候補として検討したい」と回答した343人が回答)

問 11 進学希望学科

(SA)

No.	カテゴリ	件数	%	
1	農業経営学科	257	74.9	
2	森林業経営学科	82	23.9	
	不明	4	1.2	
	合計	343	100.0	

#### 問 12 卒業後の希望就職先

#### 【就職のことについてお聞きします】

あなたは大学・短大・専門学校等を卒業後、就職先として下記のいずれを希望しますか。次の中から3つまで選んでください。回答後は問14にお進みください。

(問10で東北農林専門職大学(仮称)に「進学したい」「進学先の候補として検討したい」と回答した343人が回答)

問12 卒業後の希望就職先(複数回答)

(MA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	就職(農業法人等に就職)	146	42.6
2	就職(自営 実家を継承)	98	28.6
3	就職(自営 独立)	85	24.8
4	林業就業(森林組合、林業事業体等)	67	19.5
5	農業協同組合	95	27.7
6	林業公社	27	7.9
7	官公庁(公務員)	88	25.7
8	製造業	35	10.2
9	卸売・小売・飲食業	60	17.5
10	建設業	23	6.7
11	不動産業	12	3.5
12	運輸・通信業	15	4.4
13	金融・保険業	29	8.5
14	サービス業	42	12.2
15	その他	20	5.8
	不明	22	6.4
	合計	343	100.0

#### 問13 東北農林専門職大学(仮称)を受験先としない理由

あなたが東北農林専門職大学(仮称)を受験するかわからない、あるいは受験先として考えない理由は何ですか。次の中から<u>3つまで</u>選んでください。

(問 8 で東北農林専門職大学(仮称)を「受験先として考えていない」「わからない」と回答した 15,090 人が回答)

問13 受験先としない理由

(MA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	農林業系以外の学問分野に進学したいから	12774	84.7
2	農林業系の別の大学に進学したいから	3591	23.8
3	大学校など農林業系の2年制短期大学や専修学校(専門学校)に進学したいから	761	5.0
4	新設大学だから	1028	6.8
5	自宅から通学圏外にある大学だから	3591	23.8
6	入試の難易度が高そうだから	1259	8.3
7	4年間の授業料総額が高いから	1475	9.8
8	短大や専門学校に進学して早く社会に出たいから	981	6.5
9	専門職大学についてよく分からないから	3541	23.5
10	その他	836	5.5
	不明	400	2.7
	合計	15090	100.0

#### 高校卒業後の進学状況

#### 【全国の卒業者数及び進学状況】

(単位:人)

学科	年	卒業者数	大学等 進学者数	(進学率)	大学 (学部)	(進学率)	短期大学 (本科)	(進学率)	専修学校 (専門課程) 進学者数	(進学率)
	平成29年	1,069,568	585,184	(54.7%)	528,686	(49.4%)	51,426	(4.8%)	173,676	(16.2%)
	平成30年	1,056,378	578,041	(54.7%)	524,158	(49.6%)	48,696	(4.6%)	168,782	(16.0%)
全	令和元年	1,050,559	574,308	(54.7%)	523,466	(49.8%)	45,798	(4.4%)	172,059	(16.4%)
	令和2年	1,037,284	578,341	(55.8%)	529,009	(51.0%)	44,200	(4.3%)	174,822	(16.9%)
	令和3年	1,012,007	580,550	(57.4%)	534,312	(52.8%)	40,969	(4.0%)	175,185	(17.3%)
	平成29年	781,366	499,610	(63.9%)	462,193	(59.2%)	36,955	(4.7%)	115,026	(14.7%)
	平成30年	772,647	493,221	(63.8%)	457,807	(59.3%)	34,839	(4.5%)	111,901	(14.5%)
普通	令和元年	770,346	492,570	(63.9%)	458,757	(59.6%)	33,240	(4.3%)	115,320	(15.0%)
	令和2年	760,444	496,348	(65.3%)	463,945	(61.0%)	31,802	(4.2%)	118,106	(15.5%)
	令和3年	741,295	496,242	(66.9%)	466,686	(63.0%)	28,893	(3.9%)	115,188	(15.5%)
	平成29年	26,856	3,934	(14.6%)	2,664	(9.9%)	1,223	(4.6%)	6,802	(25.3%)
	平成30年	26,187	3,698	(14.1%)	2,484	(9.5%)	1,146	(4.4%)	6,989	(26.7%)
農業	令和元年	25,523	3,600	(14.1%)	2,556	(10.0%)	985	(3.9%)	6,637	(26.0%)
	令和2年	25,367	3,564	(14.0%)	2,395	(9.4%)	1,109	(4.4%)	6,530	(25.7%)
	令和3年	24,696	3,675	(14.9%)	2,462	(10.0%)	1,154	(4.7%)	6,994	(28.3%)

出典:文部科学省「学校基本調査」

大学進学率の増加(H29→R3)

全学科 3.4ポイント 普通科 3.8ポイント 農業科 0.1ポイント

#### 【山形県の卒業者数及び進学状況】

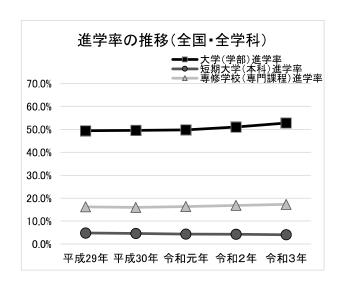
(単位:人)

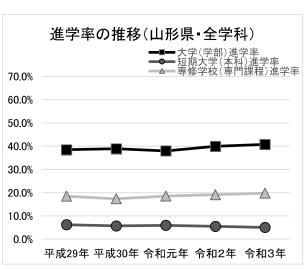
学科	年	卒業者数	大学等 進学者数	(進学率)	大学 (学部)	(進学率)	短期大学 (本科)	(進学率)	専修学校 (専門課程) 進学者数	(進学率)
	平成29年	10,073	4,566	(45.3%)	3,876	(38.5%)	628	(6.2%)	1,859	(18.5%)
	平成30年	9,943	4,501	(45.3%)	3,865	(38.9%)	570	(5.7%)	1,729	(17.4%)
全	令和元年	9,849	4,390	(44.6%)	3,736	(37.9%)	590	(6.0%)	1,823	(18.5%)
	令和2年	9,791	4,515	(46.1%)	3,912	(40.0%)	540	(5.5%)	1,872	(19.1%)
	令和3年	9,381	4,355	(46.4%)	3,821	(40.7%)	474	(5.1%)	1,858	(19.8%)
	平成29年	6,093	3,644	(59.8%)	3,227	(53.0%)	417	(6.8%)	1,111	(18.2%)
	平成30年	6,077	3,613	(59.5%)	3,215	(52.9%)	398	(6.5%)	1,057	(17.4%)
普通	令和元年	5,958	3,511	(58.9%)	3,104	(52.1%)	407	(6.8%)	1,090	(18.3%)
	令和2年	5,988	3,662	(61.2%)	3,299	(55.1%)	363	(6.1%)	1,137	(19.0%)
	令和3年	5,469	3,306	(60.4%)	2,972	(54.3%)	334	(6.1%)	1,117	(20.4%)
	平成29年	319	39	(12.2%)	16	(5.0%)	23	(7.2%)	77	(24.1%)
	平成30年	342	28	(8.2%)	16	(4.7%)	12	(3.5%)	68	(19.9%)
農業	令和元年	331	34	(10.3%)	23	(6.9%)	11	(3.3%)	71	(21.5%)
	令和2年	304	36	(11.8%)	17	(5.6%)	19	(6.3%)	56	(18.4%)
	令和3年	276	25	(9.1%)	10	(3.6%)	15	(5.4%)	56	(20.3%)

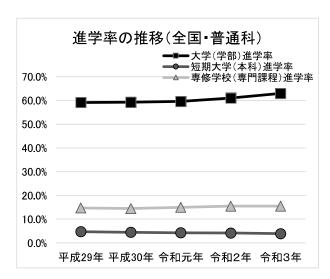
出典:文部科学省「学校基本調査」

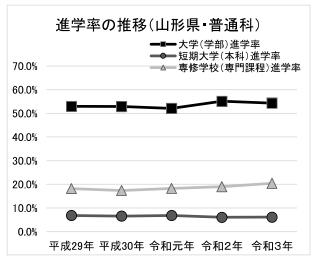
大学進学率の増加(H29→R3) 全学科 2.2ポイント 普通科 1.3ポイント

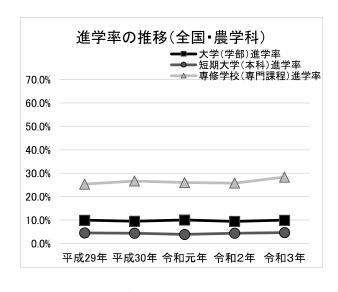
#### 高校卒業後の進学状況

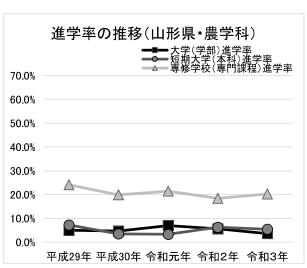












出典:文部科学省「学校基本調査」

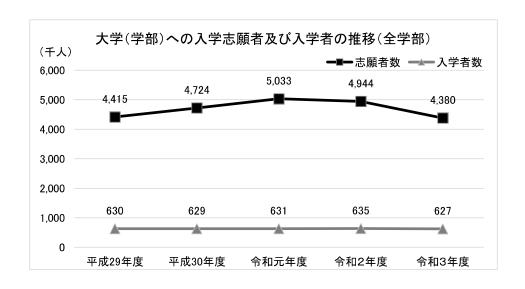
# 大学(学部)への入学志願者及び入学者の状況

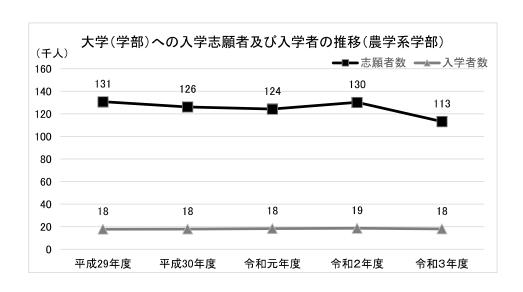
(単位:人)

分類	区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	増加率 (R3/H29)
	志願者数	4,414,843	4,723,558	5,032,682	4,943,946	4,380,427	<u>-0.8%</u>
全学部	(前年比)	(110.8%)	(107.0%)	(106.5%)	(98.2%)	(88.6%)	
	入学者数	629,733	628,821	631,273	635,003	<u>627,040</u>	<u>-0.4%</u>

農学系学部	志願者数	130,743	126,157	124,229	130,188	<u>113,167</u>	<u>-13.4%</u>
	(前年比)	(101.4%)	(96.5%)	(98.5%)	(104.8%)	(86.9%)	
	入学者数	17,798	17,857	18,362	18,599	<u>18,000</u>	<u>1.1%</u>

出典:文部科学省「学校基本調査」

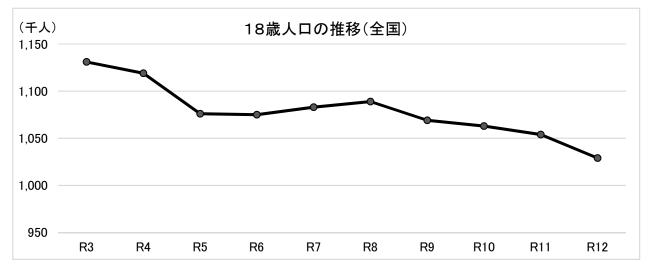


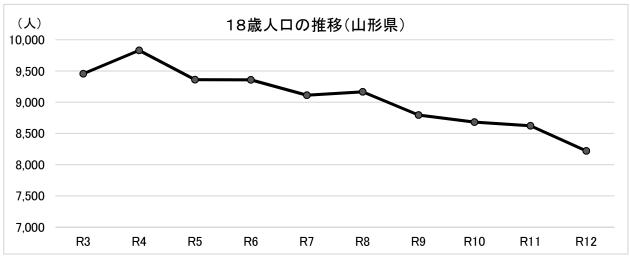


# 18歳人口の推移

年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
全国(千人)	1,131	1,119	1,076	1,075	1,083	1,089
山形県(人)	9,457	9,830	9,362	9,358	9,113	9,166
(参考) 令和3年年齢	18	17	16	15	14	13

年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	減少率 (R12/R3)
全国(千人)	1,069	1,063	1,054	1,029	<u>-9.0%</u>
山形県(人)	8,795	8,682	8,623	8,220	<u>-13.1%</u>
(参考) 令和3年年齢	12	11	10	9	





出典:総務省統計局「人口推計」 ※令和4年以降は推計値

## 山形県における大学進学の状況

## 【県内大学への進学状況】

(単位:人)

年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
総数(a)		2,794		2,837		2,875		2,808		2,792
県内流入者総数		1,906		1,937		1,946		1,903		1,868
(総数に対する比率)		(68.2%)		(68.3%)		(67.7%)		(67.8%)		(66.9%)
1	宮城	594	宮城	551	宮城	548	宮城	567	宮城	554
2	福島	192	福島	238	福島	209	福島	183	福島	196
3	岩手	120	岩手	129	岩手	123	岩手	144	岩手	130
4	栃木	111	新潟	116	新潟	122	栃木	119	栃木	100
5	秋田	104	栃木	101	栃木	109	新潟	115	青森、秋田、新潟	90
6	新潟	101	青森	99	秋田	100	秋田	85	茨城	73
7	青森	84	秋田	99	青森	95	北海道	80	静岡	66
8	静岡	74	茨城	78	茨城	79	茨城	73	北海道、東京	58
9	茨城	70	北海道	75	北海道	76	青森	70	埼玉	48
10	東京	66	静岡	72	東京、静岡	57	東京、静岡	55	愛知	39
県内進学者数		888		900		929		905		924
(総数に対する比率)		(31.8%)		(31.7%)		(32.3%)		(32.2%)		(33.1%)
東北6県からの進学者計		1,982		2,016		2,004		1,954		1,984
(総数に対する比率)		(70.9%)		(71.1%)		(69.7%)		(69.6%)		<u>(71.1%)</u>

出典:文部科学省「学校基本調査」

## 【県内高校出身者の大学進学状況】

(単位:人)

年度	平成2	9年度	平成3	0年度	令和え	元年度	令和2	2年度	令和3	3年度
総数(b)		4,240		4,224		4,099		4,275		4,097
県外流出者総数		3,352		3,324		3,170		3,370		3,173
(総数に対する比率)		(79.1%)		(78.7%)		(77.3%)		(78.8%)		(77.4%)
1	宮城	855	宮城	787	宮城	841	宮城	862	宮城	766
2	東京	634	東京	629	東京	543	東京	627	東京	596
3	神奈川	304	神奈川	323	新潟	308	新潟	301	新潟	336
4	新潟	292	新潟	305	神奈川	226	神奈川	275	神奈川	245
5	埼玉	203	千葉	220	千葉	210	千葉	236	千葉	220
6	千葉	197	埼玉	193	埼玉	194	埼玉	185	埼玉	166
7	福島	157	福島	129	福島	129	福島	155	福島	154
8	栃木	80	栃木	96	北海道	92	北海道	87	北海道	82
9	秋田	74	北海道	93	秋田	76	岩手	86	秋田	74
10	北海道	73	秋田	80	群馬	72	栃木	84	群馬	70
県内進学者数		888		900		929		905		924
(総数に対する比率)		(20.9%)		(21.3%)		(22.7%)		(21.2%)		(22.6%)

出典:文部科学省「学校基本調査」

# 【県内大学への進学(受入)状況と県内高校出身者の大学進学状況の差】

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
増減数(a−b)	<b>▲</b> 1,446	<b>▲</b> 1,387	<b>▲</b> 1,224	<b>▲</b> 1,467	<b>▲</b> 1,305

# 東北地区の国公立大学の農学系学部の定員充足状況

No.	所在地	区分	大学名	学部名	学科名	収容定員	在籍者数	<u>充足率</u>
1	青森	国立	弘前大学	農学生命科学部	生物学科	160	178	<u>111.3%</u>
					分子生命科学科	160	170	106.3%
					食料資源学科	220	227	103.2%
					国際園芸農学科	200	210	<u>105.0%</u>
					地域環境工学科	120	130	108.3%
2	秋田	公立	秋田県立大学	生物資源科学部	応用生物科学科	160	172	107.5%
					生物生産科学科	160	170	106.3%
					生物環境科学科	120	135	<u>112.5%</u>
					アグリビジネス学科	160	172	<u>107.5%</u>
3	岩手	国立	岩手大学	農学部	植物生命科学科	162	168	<u>103.7%</u>
					応用生物化学科	162	167	103.1%
					森林科学科	120	137	<u>114.2%</u>
					食料生産環境学科	244	258	105.7%
					動物科学科	122	124	101.6%
4	山形	国立	山形大学	農学部	食料生命環境学科	660	684	103.6%
5	宮城	国立	東北大学	農学部		600	638	106.3%
6	福島	国立	福島大学	食農学類		400	416	104.0%
	計					3,930	4,156	105.8%

出典 収容定員:各大学学則(東北大学は学部通則)

在籍者数:各大学ホームページ(岩手大学のみ電話聴取)

秋田県立大学22.04現在、岩手大学23.02現在、その他22.05現在

#### 【参考】東北地区の公立大学の農学系類似学部(食産業)の定員充足状況

No.	所在地	区分	大学名	学部名	学科名	収容定員	在籍者数	<u>充足率</u>
1	宮城	公立	宮城大学	食産業学類		500	540	<u>108.0%</u>

出典 大学ホームページ(在籍者数は22.05現在)

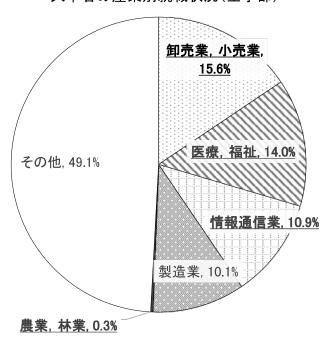
# 東北地区における農学系学部の設置状況

No.	所在地	区分	大学名	学部名	学科名	収容定員
1	青森	国立	弘前大学	農学生命科学部	生物学科	160
					分子生命科学科	160
					食料資源学科	220
					国際園芸農学科	200
					地域環境工学科	120
2	秋田	公立	秋田県立大学	生物資源科学部	応用生物科学科	160
					生物生産科学科	160
					生物環境科学科	120
					アグリビジネス学科	160
3	岩手	国立	岩手大学	農学部	植物生命科学科	162
					応用生物化学科	162
					森林科学科	120
					食料生産環境学科	244
					動物科学科	122
4	山形	国立	山形大学	農学部	食料生命環境学科	660
5	宮城	国立	東北大学	農学部	生物生産科学科	360
					応用生物化学科	240
6	福島	国立	福島大学	食農学類		400

出典:各大学学則(東北大学は学部通則)

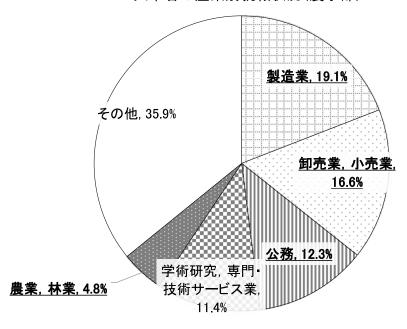
# 大卒者の産業別就職者数(全国)

#### 大卒者の産業別就職状況(全学部)



大学卒業者の産業別就職状況(全学部)(n=446,082)(令和3年3月) 出典:文部科学省「学校基本調査」

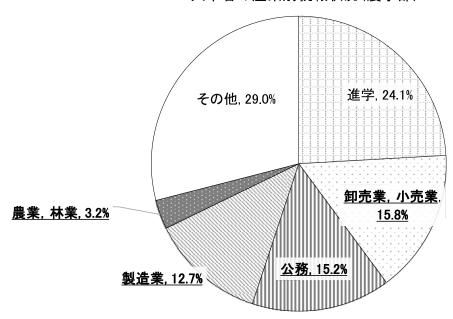
#### 大卒者の産業別就職状況(農学部)



大学卒業者の産業別就職状況(農学部)(n=12,537)(令和3年3月) 出典:文部科学省「学校基本調査」

# 大卒者の産業別就職者数(山形県)

## 大卒者の産業別就職状況(農学部)



近隣大学卒業者の産業別就職状況(農学部)(n=158)(令和3年3月) 出典:山形大学ホームページ